

# 安全・安心なクレジットカード利用環境整備 に向けた取組状況について

2017年4月  
商務流通保安グループ  
商取引監督課

# 安全・安心なクレジットカード利用環境整備に向けた状況調査

## <調査概要>

---

○「平成28年度経済産業省委託調査(商取引適正化・製品安全に係る事業)」(委託先:(株)野村総合研究所)において、以下のアンケート調査を実施

### ■調査期間:

- 2016年10月3日～2016年10月31日

### ■調査対象:

- クレジットカード決済に係る対面販売、非対面販売関連企業  
20業界団体等の関係企業に対し、web上のアンケート調査(任意)を実施
- アンケート回収数: 970社(対面:776社、非対面:194社)
- アンケート回答企業の保有店舗数合計: 約10万店程度(推計)

## アンケート結果のサマリ

## 大企業は主にPOS内蔵型決済端末を導入し、カード情報が自社サーバを通過するシステムとなっている比率も高いが、コスト面を中心とした理由でIC化が遅れている。

### POSの現状

- 現在の対面店舗においては、採用率、台数いずれの観点でも、「POSにカード決済機能が内蔵されている据置型端末(以下、POS内蔵型)」が最も多い(60.2%、約45万台)。
  - 次に多いのがPOSと連動させていない据置型の決済端末(POS連動なし)であり(39.8%、6.5万台)、POSと連動させている据置型の決済端末(POS連動型)はそれより少ない(19.0%、5.8万台)。
  - モバイル型についてはPOS連動なしが2.8%、POS連動型が1.1%、POS内蔵型が2.8%、スマートフォン・タブレット型はPOS連動なしが1.1%、POS連動型が0.2%、POS内蔵型が0.2%にとどまる。
- 企業規模別にみると、POS内蔵型の採用率は従業員数1～99人で20.8%、100～999人で48.9%、1000人以上で76.2%となっており、大企業を中心に採用されているとみられる。
  - 逆に「POS連動なし」については従業員数1～99人で67.9%、100～999人で58.5%、1000人以上で47.6%となっており、規模の小さい企業を中心に採用されているとみられる。
- POS内蔵型を採用している企業の45%が、カード情報が自社サーバを通過するシステム。それらを企業規模別にみると、1～99人が54.5%、1000人以上が59.1%に対して100～999人が80.9%と最も高くなっている。

### IC化対応の現状

- IC化対応については大企業ほど完了が遅れており、全て対応完了と回答している比率は1～99人だと38.8%、100～999人だと22.2%、1000人以上だと11.1%となっている。一方で、検討や対応の開始年月が「分からない」と回答している比率は大企業が最も低い。
  - たとえばIC化について「未着手(検討中)」と回答している企業の対応開始予定年月について「分からない」と回答している企業は1～99人で41.2%、100～999人で35.1%、1000人以上で20.0%。
  - なお、POS連動なし、POS連動型、POS内蔵型の順でIC対応未着手の比率が高まる。
- IC化対応が遅れている理由として、大企業ほどコスト面を理由にしたものを選ぶ比率が高まる。
  - たとえばシステム対応コストでは、1～99人で47.8%、100～999人で58.2%、1000人以上で66.7%が該当。
  - フリーアンサーでは、POSが未対応であること、更改時期に合わせるつもりであることなどが理由となっている。

## アンケート結果のサマリ

**非保持化を拒む企業が一定数いるものの、その多くはPCI-DSS準拠を進めている。PCI-DSS準拠の主な阻害要因としては、システムコストの高さや認知度不足が挙げられる。**

非保持化対応の  
現状

- カード情報の非保持化対応状況について、実施済み企業は17.5%にとどまる一方、「非保持化対応不可」と回答している企業も15.1%存在する。
- 「非保持化対応不可」と回答している企業について、1～99人の企業が0%、100～999人の企業が5.0%なのに対して、1000人以上の企業は11.6%となっている。
- カード情報を保持している企業のうち、約25%が非保持化あるいはPCI-DSS準拠への見通しを立てていない。
  - 上記のうち、PCI-DSSで対応している／対応する方針とみられる企業は5件中4件となっている。

PCI-DSS準拠の  
現状

- PCI-DSSの準拠について、完了しているのは3.6%にとどまる一方、未着手の企業が87.9%を占める。
- PCI-DSS準拠状況を企業規模別にみると、「対応完了」「対応中」「未着手(検討中)」と回答している企業の比率は1～99人で40.0%、100～999人で55.2%、1000人以上では72.5%と、大企業ほど対応検討を進めているとみられる。
- PCI-DSS準拠が進んでいない理由としては、「準拠のためにかかるシステム的なコストが高い」(37.5%)、「対応する場合の影響範囲が分からない」(25.0%)などが大きい。
  - フリーアンサーをみると、「(PCI-DSSの)内容がよくわからない」というのが主な理由。

## アンケート結果のサマリ

# 百貨店・ショッピングセンター業界はPOSの保有台数が多いため、システムコストがIC対応における大きな阻害要因となっている。

## 業界別の特徴

- POS内蔵型の採用率について、全体での採用率である60.2%を上回っているのは百貨店・ショッピングセンター(62.0%)、スーパー(69.1%)、コンビニ(71.4%)、GS(94.1%)、その他対面取引(66.7%)。
  - 一方で、上記以外の業界ではいずれもPOS連動なしが高い(全体39.8%に対して、その他の小売流通業では46.0%、フードサービスでは100%、ホテル業界では76.1%、私鉄では48.4%)。
- POS内蔵型、POS連動型いずれのケースにおいても、百貨店・ショッピングセンター業界においては、カード情報が自社サーバを通過している比率が87.5%、81.3%と高い。
  - 他の業界で、カード情報が自社サーバを通過しているという回答の全体の数値(44.7%)を上回っているのは、POS内蔵型の場合はコンビニ(57.1%)、その他の小売流通業(50.0%)、ホテル(70.0%)、その他(対面取引)(69.2%)。POS連動型の場合は全体の数値が19.3%であり、上回っているのはホテル(38.8%)、私鉄(33.3%)。
- IC化については、対応完了は全体で16.7%に対して、百貨店・ショッピングセンターで10.6%、スーパーで6.2%、コンビニで6.7%と低くなっている。
- 百貨店・ショッピングセンター、スーパー、コンビニそれぞれの業界におけるIC対応未着手の理由としては「システム対応のコスト」が最も高く、それぞれ55.4%、43.8%、36.4%となっている。
- 非保持化対応不可について、百貨店・ショッピングセンターは8.2%、スーパー13.7%が該当。
- PCI-DSSの準拠について、スーパーは12.2%が対応完了している一方、百貨店・ショッピングセンターは1.9%、コンビニは0.0%となっている。
- 百貨店・ショッピングセンターのPCI-DSS未着手の理由としては「準拠のためにかかるシステム的なコストが高い」が最も高く56.5%が該当、コンビニにおいては「対応方法が分からない」「準拠のためにかかるシステム的なコストが高い」がいずれも27.3%が該当。

## アンケート結果のサマリ

# 大企業ほどECサイトを自社構築し、またカード情報も保有する傾向にある。一方でその多くが非保持化への移行を不可能としているため、PCI-DSS準拠が課題となっている。

## 非対面決済の現状

- 非対面決済においては79.5%が決済代行業者を活用。しかし半数以上がモジュール型となっている。

- 企業規模別にみると、1～99人の企業で決済代行業者利用が87.8%に対して、100～999人で80.6%、1000人以上で61.9%となっており、大企業ほど自社サイト構築の比率が高まる。  
 なお、大企業ほどリンク型の比率は1～99人で29.6%、100～999人で18.5%、1000人以上で15.4%。
  - 中小企業は9割近くが決済代行業者を活用しているため、決済代行業者による非保持化対応がメインとなるが、大企業は自社での構築なので更にハードルが高い可能性がある。

## カード情報の保存状態の現状

- 全体の26.2%がカード情報を意図的に保存しているとしており、理由は「顧客対応のため」が77.3%で最大。
  - 意図的に保存している企業のうち、約13%が非保持化やPCI-DSSの準拠の見通しを立てていない。

- 企業規模別にみると、意図的に保存しているのは1～99人で19.2%、100～999人で22.2%、1000人以上で26.7%となっており、大企業ほど比率が高まる。
  - また、そのうち約13%が顧客情報の非保持化やPCI-DSSの準拠の見通しを立てていない。

- モジュール型採用の大企業のうち、73%が非保持化への移行不可能と答えている。
  - PCI-DSSについて中小企業も含めた集計では「未着手」が70.6%となっており、大企業においても未だ検討が進んでいる例は多くないものと考えられる(企業規模別はN数が小さいため割愛)。
  - また、中小企業も含めた集計では「対応方法がわからない」「システムのなコストが大きい」等が主なハードルとなっており、大企業においても対応方法を理解していない人が一定数存在する可能性がある。

## なりすまし防止の現状

- なりすまし防止対策は29.1%が未実施であり、企業規模が小さくなるほど未実施率が高まる。
- 企業規模が小さくなるほど「対応可能な人材がない」こと、大きくなるほど「提供コストが高い」ことが主なハードルとなっている。

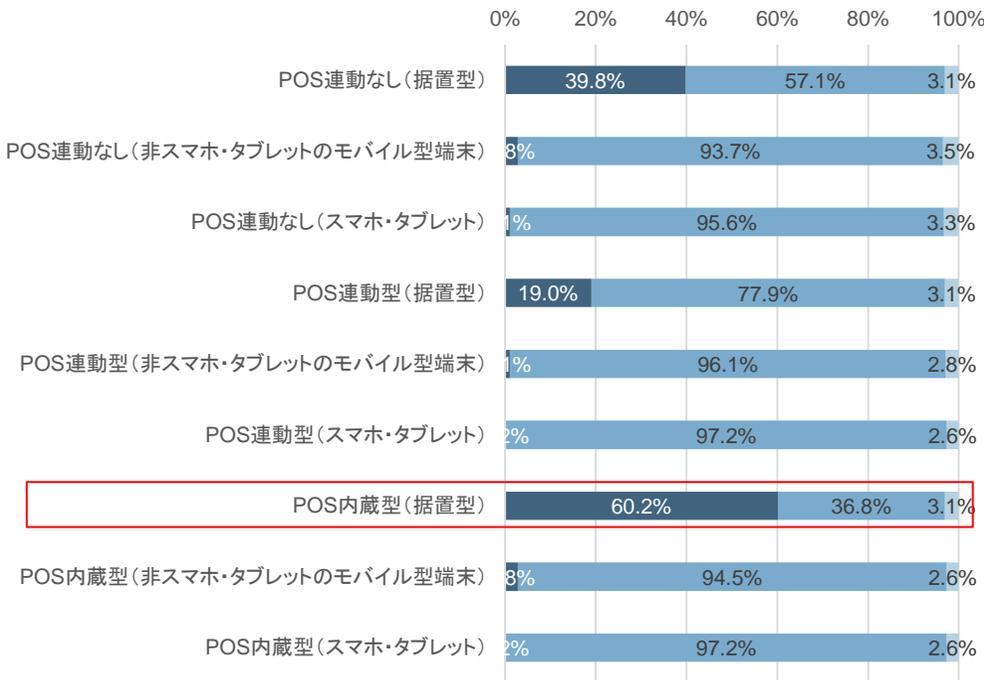
POSの種類別採用率／採用数

**企業数、台数いずれの観点でも、POSにカード決済機能が内蔵されている決済端末(据置型)が最も多い(60.2%、約45万台)。**

■ モバイル型やスマホ・タブレット型を採用している企業は未だ少ない。

カード決済端末の種類別採用率(企業数ベース)(n=457)

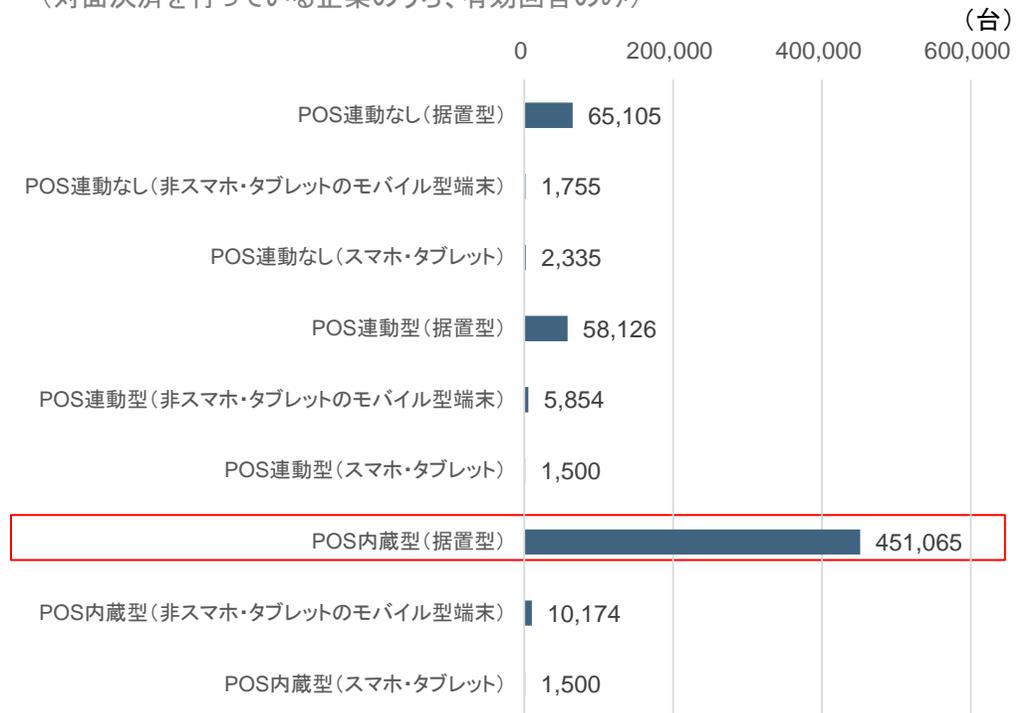
Q: 貴社が各店舗や各施設で導入されているクレジットカード決済の決済端末の形態について、ご回答をお願いいたします。  
(対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)



■ この端末を使用している ■ この端末は採用していない ■ 分からない

カード決済端末の種類別採用数(台数ベース)(n=457)

Q: 貴社が各店舗や各施設で導入されているクレジットカード決済の決済端末の形態について、ご回答をお願いいたします。  
(対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)

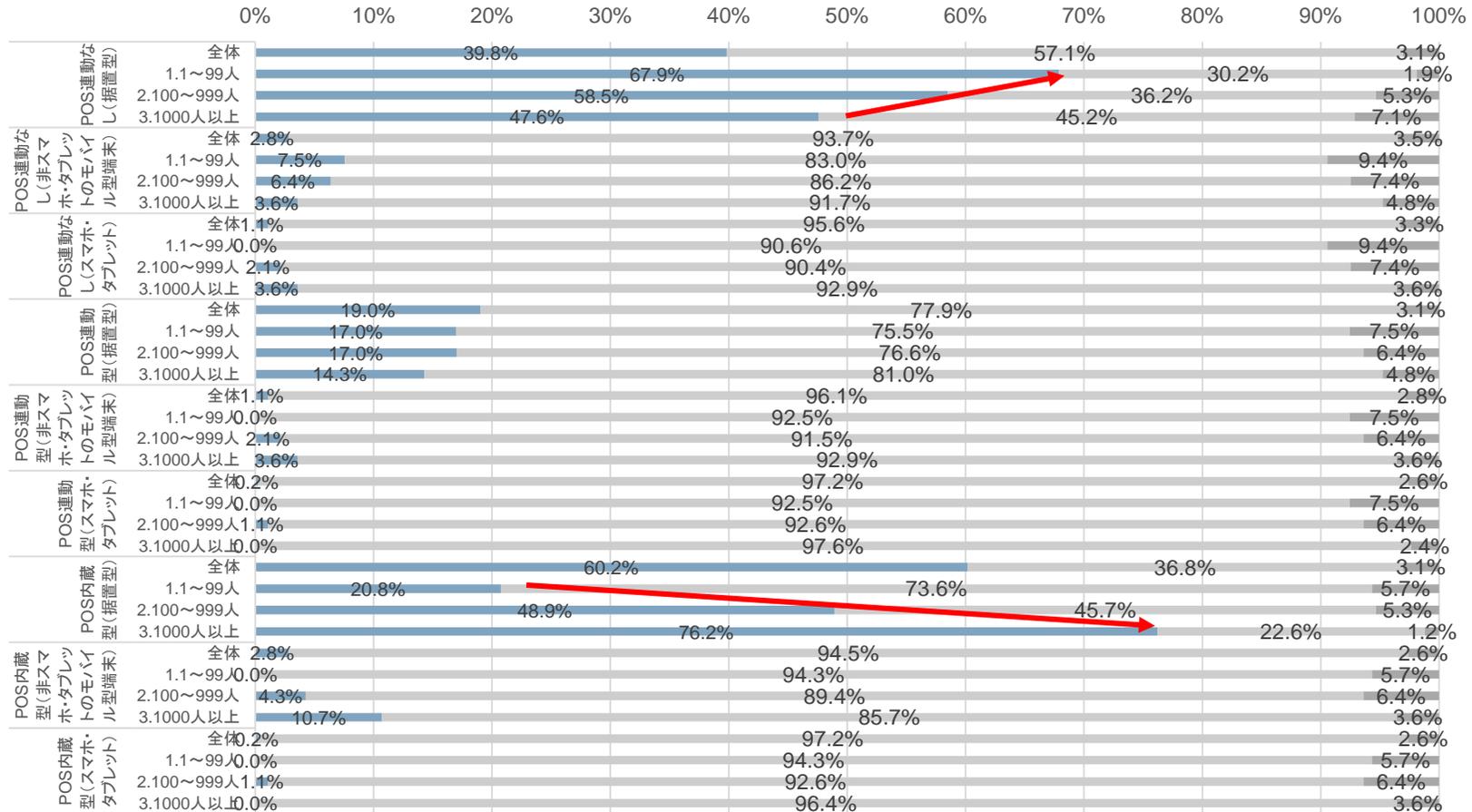


POSの種類別採用率／採用数 企業規模別

企業規模が小さくなるほどPOS連動のないカード決済端末の採用率が上がり、  
企業規模が大きくなるほどPOS内蔵型のカード決済端末の採用率が上がる。

カード決済端末の種類別採用率(企業数ベース)

Q:貴社が各店舗や各施設で導入されているクレジットカード決済の決済端末の形態について、ご回答をお願いいたします。  
(対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)



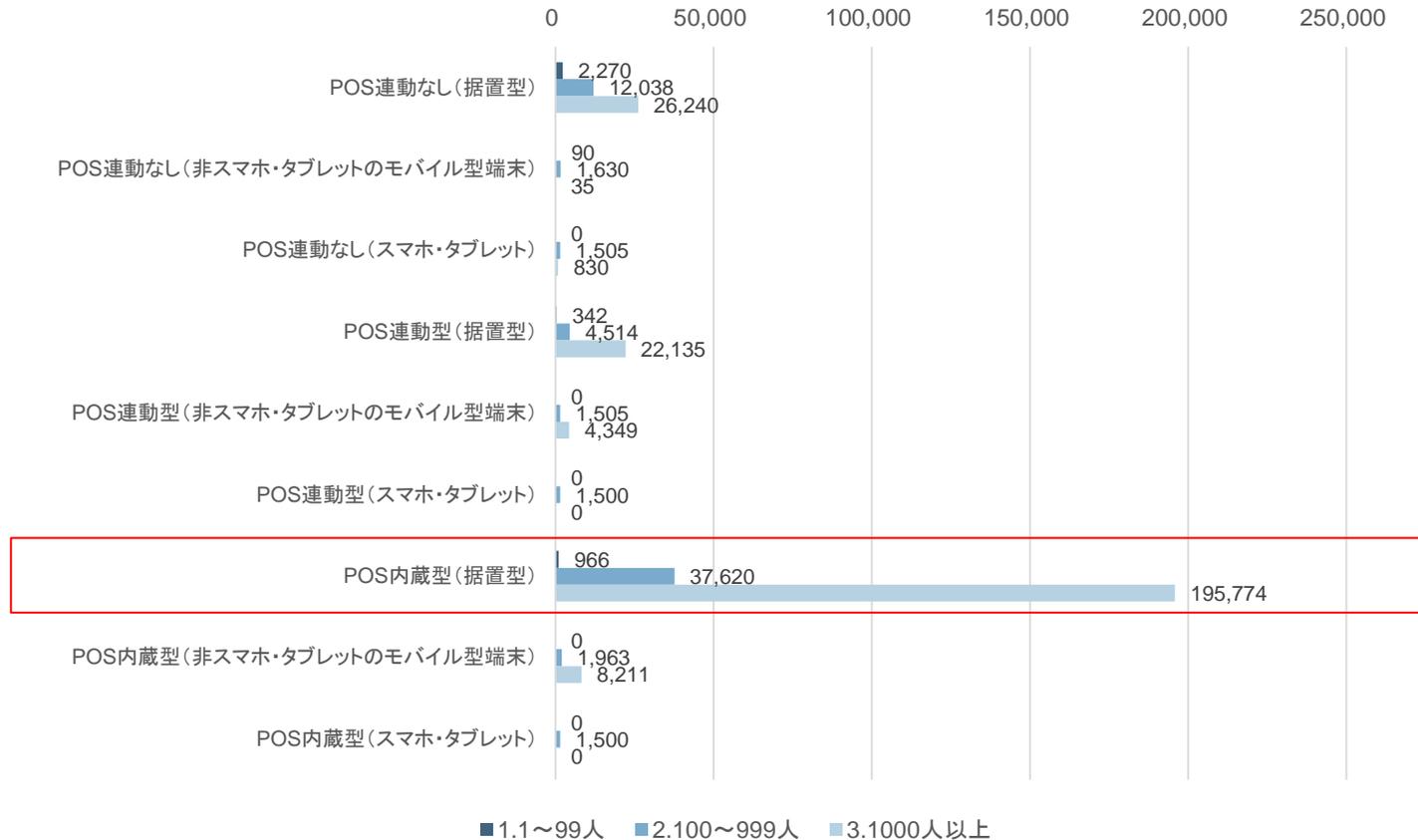
■この端末を使用している ■この端末は使用していない ■分からない

POSの種類別採用率／採用数 企業規模別

台数ベースでは、従業員数1,000人以上の企業におけるPOS内蔵型カード決済端末の採用数が最も多い。

カード決済端末の種類別採用数(台数ベース)

Q: 貴社が各店舗や各施設で導入されているクレジットカード決済の決済端末の形態について、ご回答をお願いいたします。  
(対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)



POSの種類別採用率 業種別

業種別にみると、百貨店・SCやスーパー、コンビニ、GS、その他(対面取引)においてPOS内蔵型のカード決済端末が全体の数値より多く導入されている。

■ ホテル業界においては、POS非連動型の比率が高い。

カード決済端末の種類別採用率(企業数ベース)(業種別)

Q: 貴社が各店舗や各施設で導入されているクレジットカード決済の決済端末の形態について、ご回答をお願いいたします。  
(対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)

	全体	百貨店・ ショッピング センター等	スーパー・ チェーン ストア等	コンビニ	その他の 小売流通業	フード サービス	ホテル業界	鉄道	GS	道路	その他 (対面取引)
	n=457	n=92	n=188	n=14	n=63	n=5	n=176	n=39	n=17	n=2	n=27
POSと連動なし(据置型)	39.8%	54.3%	25.5%	28.6%	46.0%	100.0%	76.1%	38.5%	23.5%	0.0%	55.6%
POSと連動なし(非スマホ・タブレットのモバイル型端末)	2.8%	8.7%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%
POSと連動なし(スマホ・タブレット)	1.1%	3.3%	0.5%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
POS連動型(据置型)	19.0%	15.2%	24.9%	21.4%	14.3%	40.0%	38.1%	12.8%	5.9%	0.0%	7.4%
POS連動型(非スマホ・タブレットのモバイル型端末)	1.1%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
POS連動型(スマホ・タブレット)	0.2%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
POS内蔵型(据置型)	60.2%	62.0%	69.1%	71.4%	50.8%	20.0%	5.1%	35.9%	94.1%	100.0%	66.7%
POS内蔵型(非スマホ・タブレットのモバイル型端末)	2.8%	12.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%
POS内蔵型(スマホ・タブレット)	0.2%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## POSの種類別採用数 業種別

台数ベースでは、百貨店・SCやスーパー、コンビニ、その他の小売流通業、GS、その他（対面取引）においてPOS内蔵型のカード決済端末が多く導入されている（3万台以上）。

## カード決済端末の種類別採用率（企業数ベース）（業種別）

Q: 貴社が各店舗や各施設で導入されているクレジットカード決済の決済端末の形態について、ご回答をお願いいたします。  
（対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ）

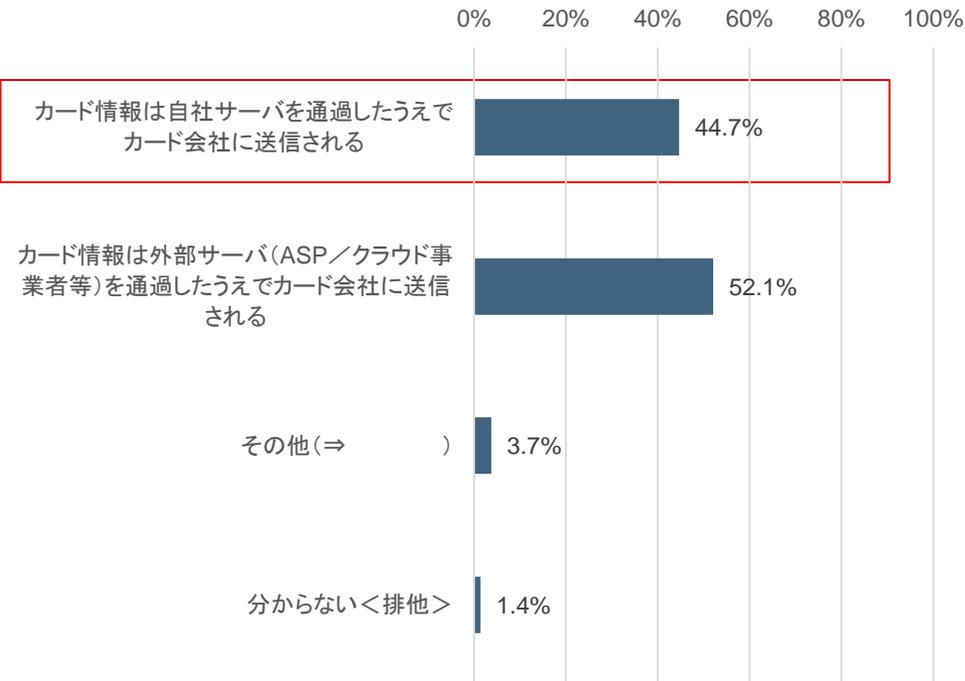
	全体	百貨店・ ショッピング センター等	スーパー・ チェーン ストア等	コンビニ	その他の 小売流通業	フード サービス	ホテル業界	鉄道	GS	道路	その他 (対面取引)
	n=457	n=92	n=188	n=14	n=63	n=5	n=176	n=39	n=17	n=2	n=27
POSと連動なし(据置型)	65,105	13,720	19,599	728	15,476	65	1,025	184	2,273	0	12,920
POSと連動なし(非スマホ・タブレットのモバイル型端末)	1,755	1,650	0	0	90	0	0	0	0	0	15
POSと連動なし(スマホ・タブレット)	2,335	1,511	75	0	750	0	0	0	0	0	0
POS連動型(据置型)	58,126	9,848	8,862	20,750	14,876	30	1,309	386	2,500	0	789
POS連動型(非スマホ・タブレットのモバイル型端末)	5,854	5,848	0	0	0	0	0	6	0	0	0
POS連動型(スマホ・タブレット)	1,500	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0
POS内蔵型(据置型)	451,065	94,151	97,789	59,648	69,732	2,500	77	21,309	71,945	7,999	48,593
POS内蔵型(非スマホ・タブレットのモバイル型端末)	10,174	9,075	350	0	0	0	0	0	750	0	0
POS内蔵型(スマホ・タブレット)	1,500	1,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## POSレジの決済方式

POS内蔵型を採用している企業の44.7%が、カード情報が自社サーバ通過。  
一方、POS連動型を採用している企業の場合は自社サーバ通過は19.3%。

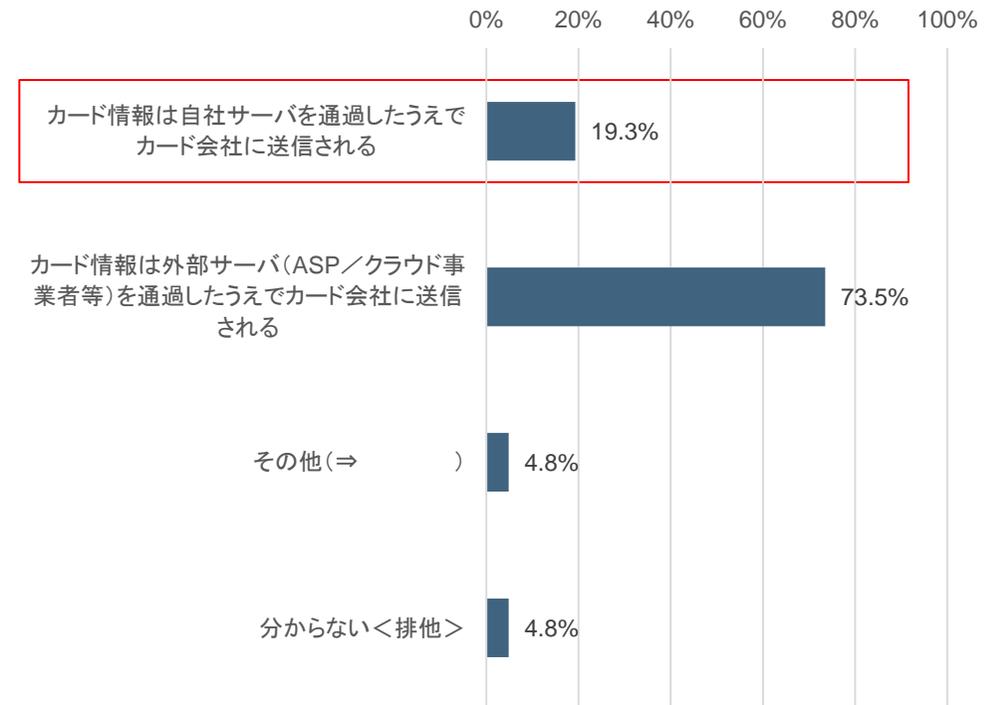
## POSレジの決済方式(POS内蔵型)(n=215)

Q: 貴社のPOSでクレジットカード決済が行われた場合、決済データはどのようにカード会社に送信されますか。  
(「POSに決済機能が内蔵されている」と回答の企業のみ)



## POSレジの決済方式(POS連動型)(n=83)

Q: 貴社のPOSでクレジットカード決済が行われた場合、決済データはどのようにカード会社に送信されますか。  
(「POSと連動させている決済端末」と回答の企業のみ)



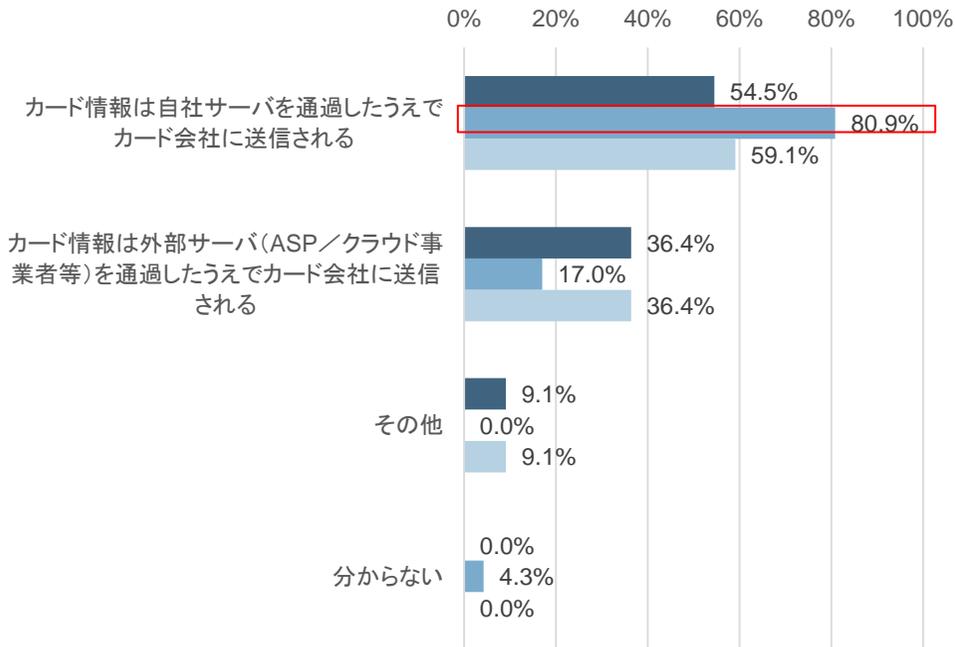
## POSレジの決済方式 企業規模別

POS内蔵型の場合、自社サーバ通過比率が最も多いのは100～999人で80.9%。  
POS連動型の場合は1000人以上で56.3%。

## POSレジの決済方式(POS内蔵型)

Q: 貴社のPOSでクレジットカード決済が行われた場合、決済データはどのようにカード会社に送信されますか。

(「POSに決済機能が内蔵されている」と回答の企業のみ)

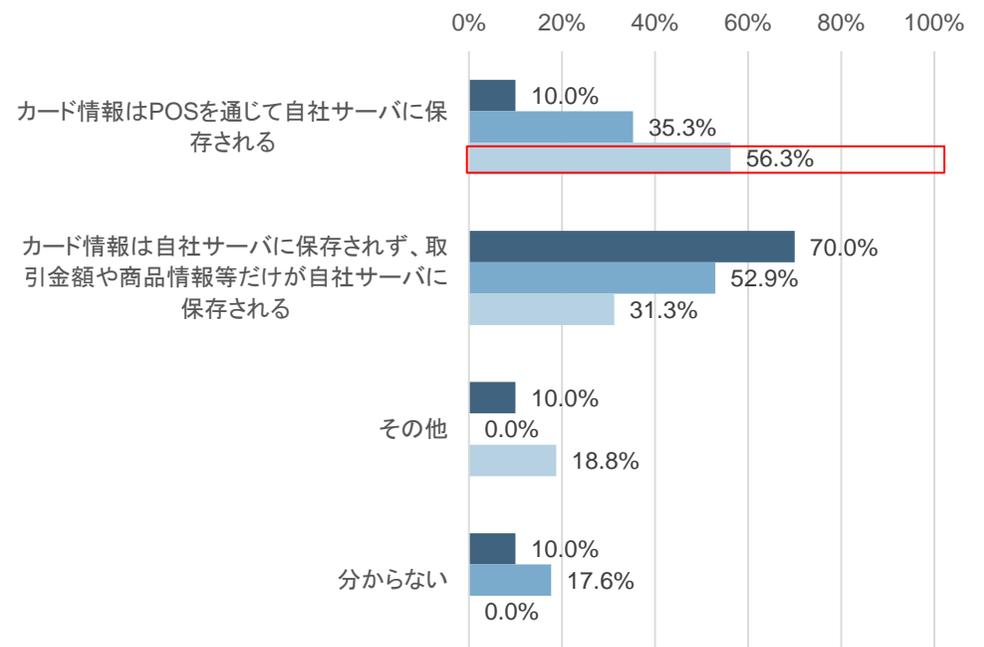


■ 1.1～99人(n=11) ■ 2.100～999人(n=47) ■ 3.1000人以上(n=66)

## POSレジの決済方式(POS連動型)

Q: 貴社のPOSでクレジットカード決済が行われた場合、決済データはどのようにカード会社に送信されますか。

(「POSと連動させている決済端末」と回答の企業のみ)



■ 1.1～99人(n=10) ■ 2.100～999人(n=17) ■ 3.1000人以上(n=16)

POSレジの決済方式 企業規模別 業種別

**POS内蔵型の場合、特に百貨店・ショッピングセンター業界においては自社サーバ通過型の比率が高い(87.5%)。**

POSレジの決済方式(POS内蔵型)

Q: 貴社のPOSでクレジットカード決済が行われた場合、決済データはどのようにカード会社へ送信されますか。  
 (「POSに決済機能が内蔵されている」と回答の企業のみ)

	全体	百貨店・ ショッピング センター等	スーパー・ チェーン ストア等	コンビニ	その他の 小売流通業	フード サービス	ホテル業界	鉄道	GS	道路	その他 (対面取引)
	n=215	n=48	n=119	n=7	n=10	n=0	n=10	n=12	n=7	n=0	n=13
カード情報は自社サーバを通過したうえでカード会社へ送信される	44.7%	87.5%	23.5%	57.1%	50.0%	-	70.0%	50.0%	42.9%	-	69.2%
カード情報は外部サーバ(ASP/クラウド事業者等)を通過したうえでカード会社へ送信される	52.1%	14.6%	73.9%	42.9%	50.0%	-	10.0%	8.3%	57.1%	-	30.8%
その他	3.7%	2.1%	1.7%	0.0%	0.0%	-	0.0%	41.7%	0.0%	-	0.0%
分からない	1.4%	2.1%	0.8%	0.0%	10.0%	-		0.0%	0.0%	-	0.0%

## POSレジの決済方式 企業規模別 業種別

POS連動型の場合も、百貨店・ショッピングセンター業界においては自社サーバ通過型の比率が高い(81.3%)。

## POSレジの決済方式(POS連動型)

Q: 貴社のPOSでクレジットカード決済が行われた場合、決済データはどのようにカード会社に送信されますか。  
(「POSと連動させている決済端末」と回答の企業のみ)

	全体	百貨店・ ショッピング センター等	スーパー・ チェーン ストア等	コンビニ	その他の 小売流通業	フード サービス	ホテル業界	鉄道	GS	道路	その他 (対面取引)
	n=83	n=16	n=43	n=2	n=5	n=2	n=67	n=6	n=3	n=0	n=2
カード情報はPOSを通じて自社サーバに保存される	19.3%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.8%	33.3%	0.0%	-	50.0%
カード情報は自社サーバに保存されず、取引金額や商品情報等だけが自社サーバに保存される	73.5%	18.8%	48.8%	50.0%	100.0%	0.0%	40.3%	50.0%	66.7%	-	50.0%
その他	4.8%	6.3%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	-	0.0%
分からない	4.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		16.7%	0.0%	-	0.0%

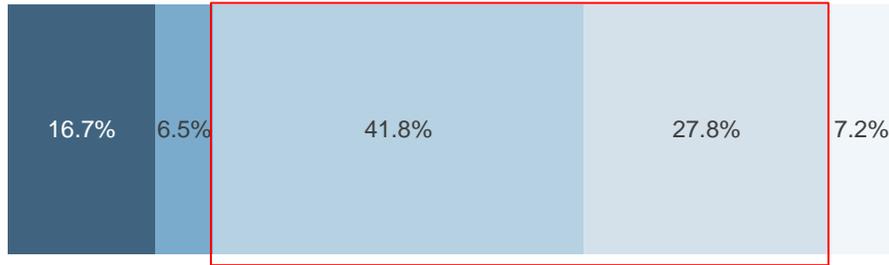
## IC化対応状況・対応／検討スケジュール

IC化については未着手の企業が69.6%。対応／検討スケジュールも40.8%が「わからない」と回答。

### IC化対応状況(n=474)

Q: クレジットカード決済端末のIC化への対応状況についてお答えください。  
(対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 1. 全て対応完了 ■ 2. 対応中 ■ 3. 未着手(検討中) ■ 4. 未着手(未検討) ■ 5. 分からない

(参考) IC化対応完了済み企業例

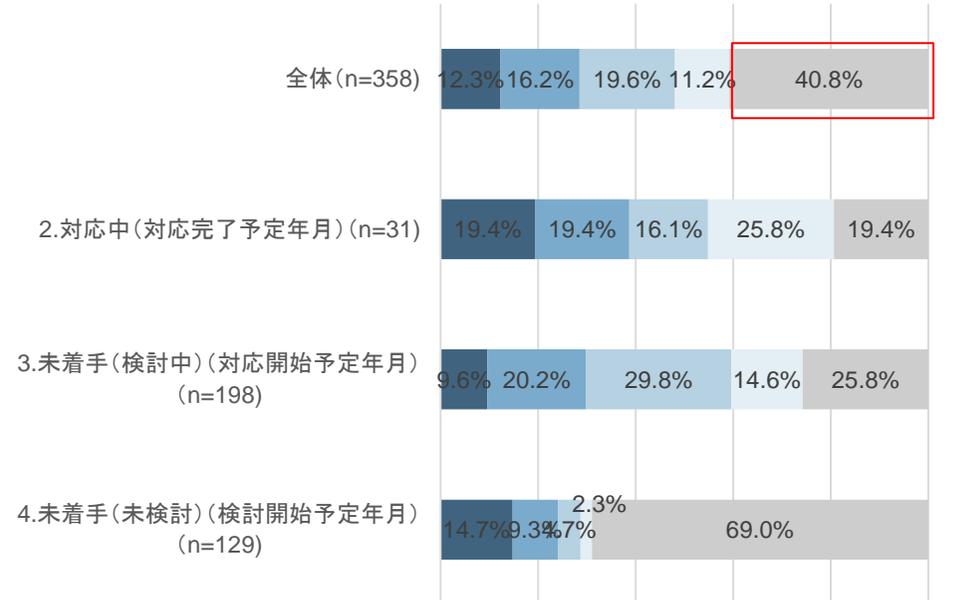
- ◆ 小売・流通(東武百貨店、エディオン、オートバックス セブン、山田薬品、JR西日本山陰開発、虎の穴 等)
- ◆ 運輸・観光(ジェイティービー、仙台市交通局、福岡市交通局、名古屋市交通局、お茶の水イン、小諸倉庫 等)

### IC化対応／検討スケジュール(n=358)

Q: クレジットカード決済端末のIC化への対応／検討スケジュールについてお答えください。

(「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



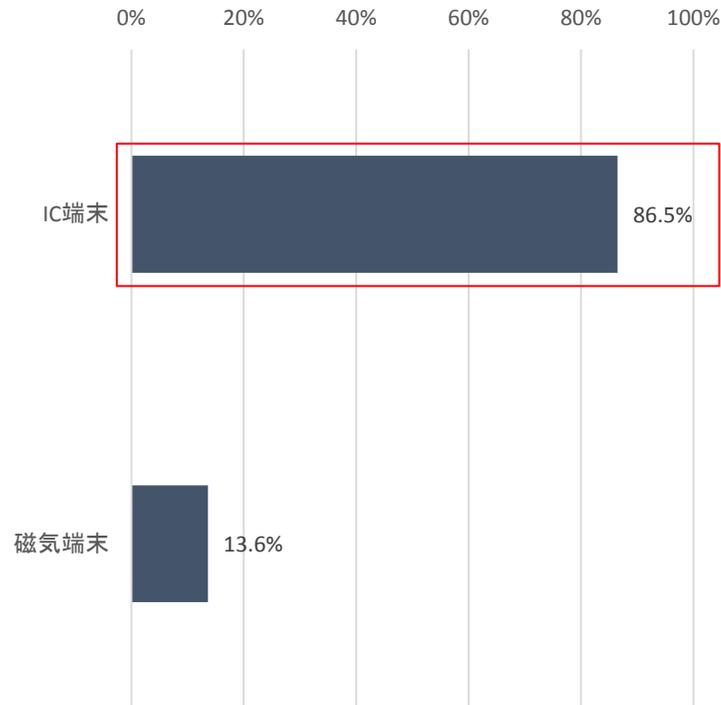
■ 1. 今後1年以内 ■ 2. 今後2年以内 ■ 3. 今後3年以内 ■ 4. 今後5年以内 ■ 5. 分からない

## IC化対応状況・対応／検討スケジュール

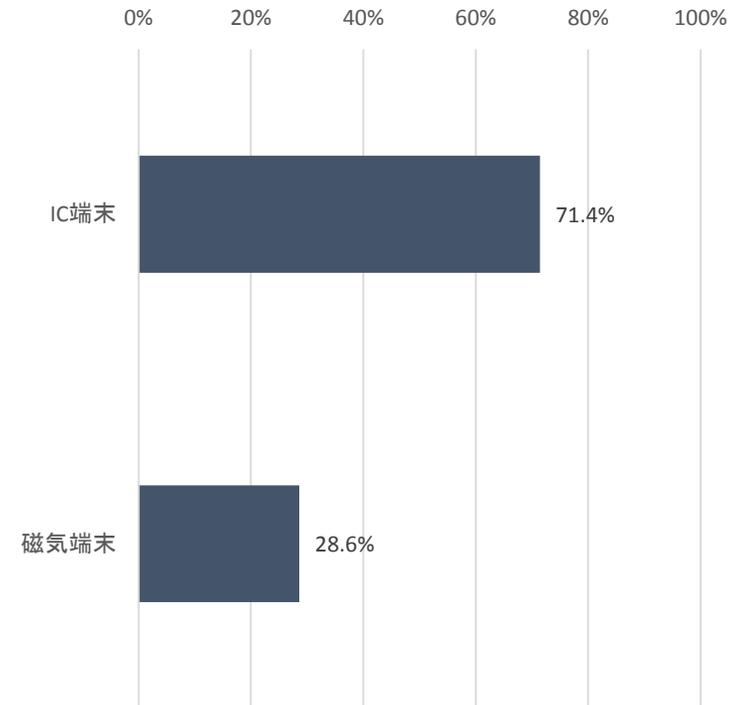
一方で決済代行事業者の加盟店では、86.5%の企業がIC端末を導入。  
特に、店舗数の少ない企業でIC対応が進んでいる模様。

- IC端末導入割合は、企業数では86%だが、店舗数では71%へと下がる。この要因としては、多くの店舗を有する企業において、磁気端末を採用している割合が高いことが類推される。

IC化対応状況(企業数、n=33,136)



IC化対応状況(店舗数、n=64,969)

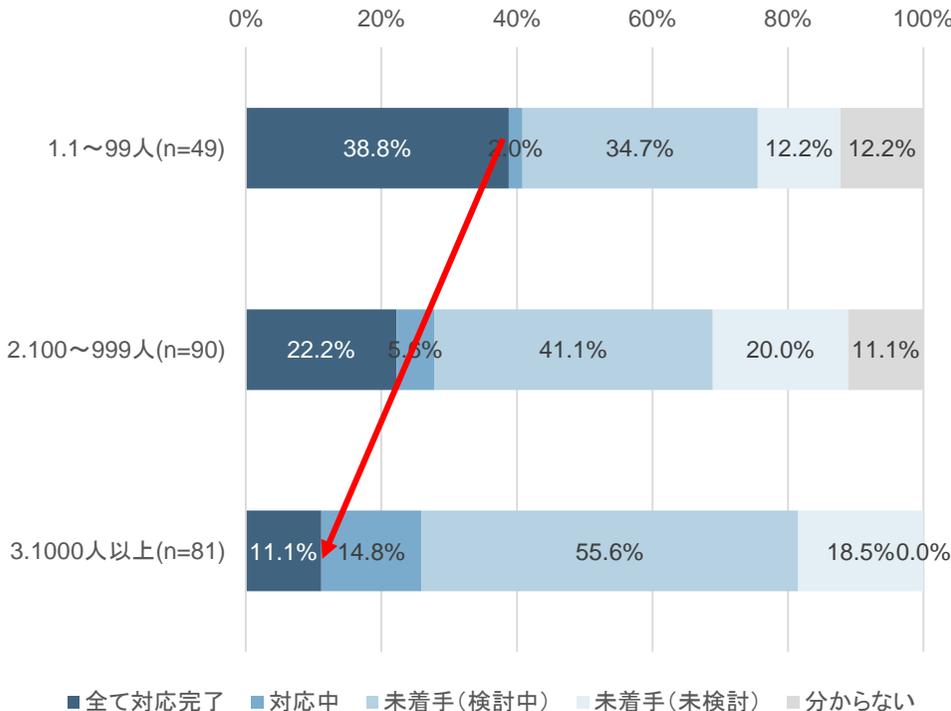


## IC化対応状況・対応／検討スケジュール 企業規模別

**IC化については企業規模が大きいほど対応が遅れているが、予定も立っている。  
規模の小さい企業ほど検討スケジュールが定まっていない比率が高い。**

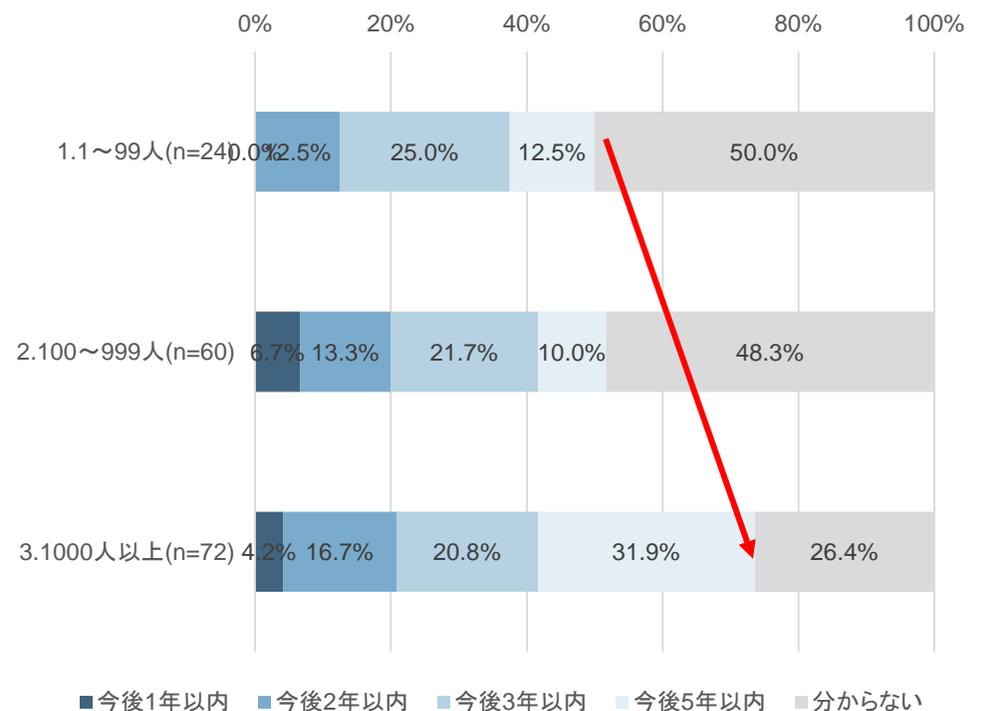
### IC化対応状況

Q: クレジットカード決済端末のIC化への対応状況についてお答えください。  
(対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)



### IC化対応／検討スケジュール

Q: クレジットカード決済端末のIC化への対応／検討スケジュールについてお答えください。  
(「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)

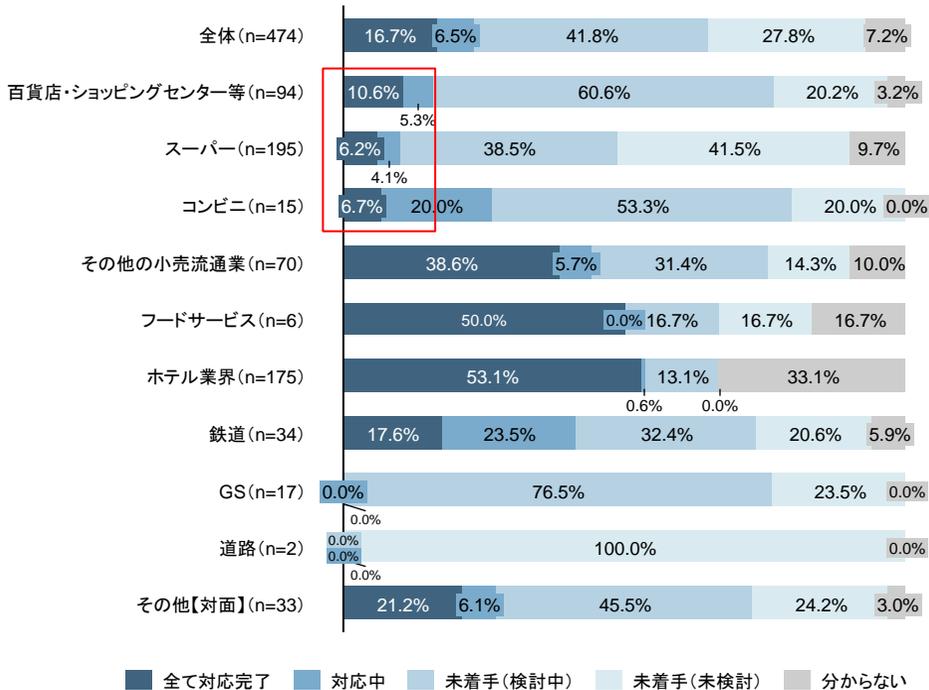


## IC化対応状況・対応／検討スケジュール 業種別

IC化については、百貨店・SCやスーパー、コンビニにおいては対応完了が少なく、特に百貨店・SC、スーパーにおいては今後についても「分からない」の比率が高い。

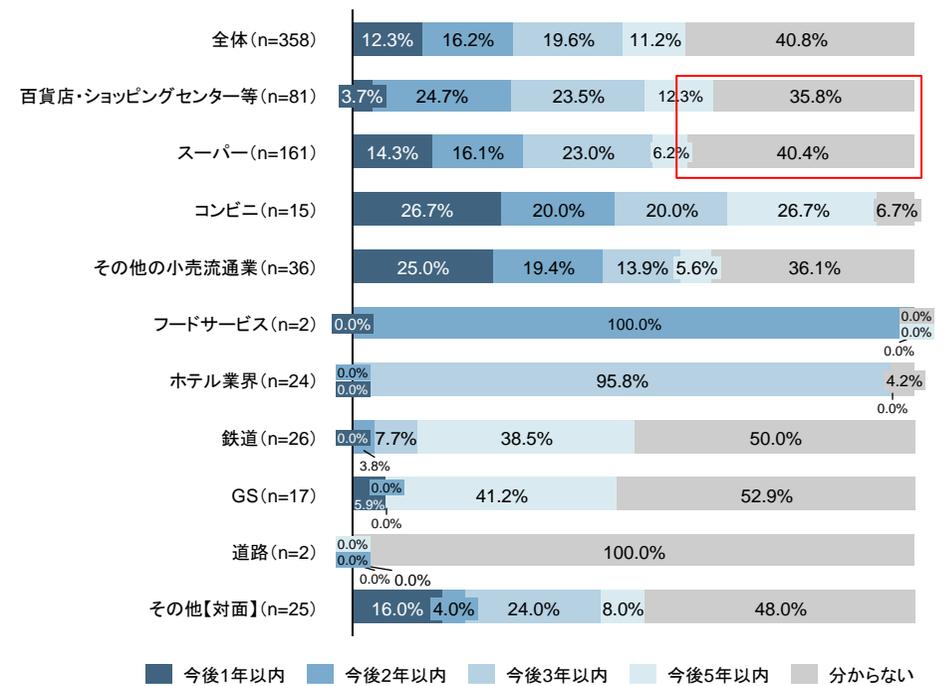
### IC化対応状況

Q: クレジットカード決済端末のIC化への対応状況についてお答えください。  
 (対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)  
 (業種別有効回答数 n=474)



### IC化対応／検討スケジュール

Q: クレジットカード決済端末のIC化への対応／検討スケジュールについてお答えください。  
 (「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
 対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)  
 (業種別有効回答数 n=358)

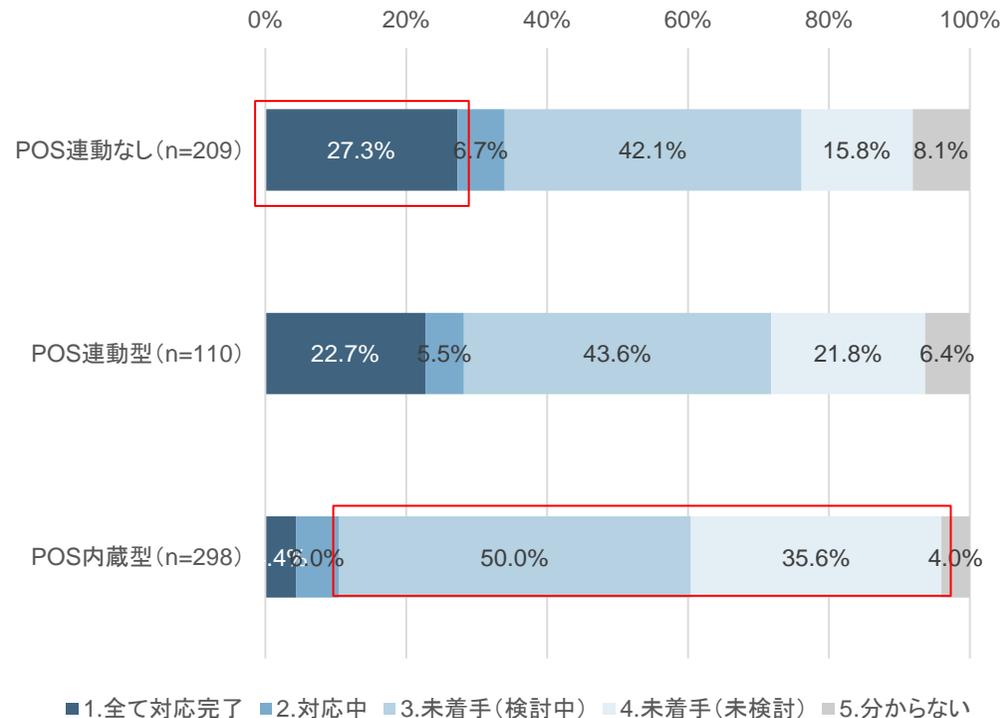


## IC化対応状況 POSの種類別

**POS連動なしは対応完了している比率が最も高い。**  
**POS内蔵型が最も未着手の比率が高い。**

## IC化対応状況(POSの種類別)

Q: クレジットカード決済端末のIC化への対応状況についてお答えください。  
 (対面決済を行っている企業のうち、有効回答のみ)

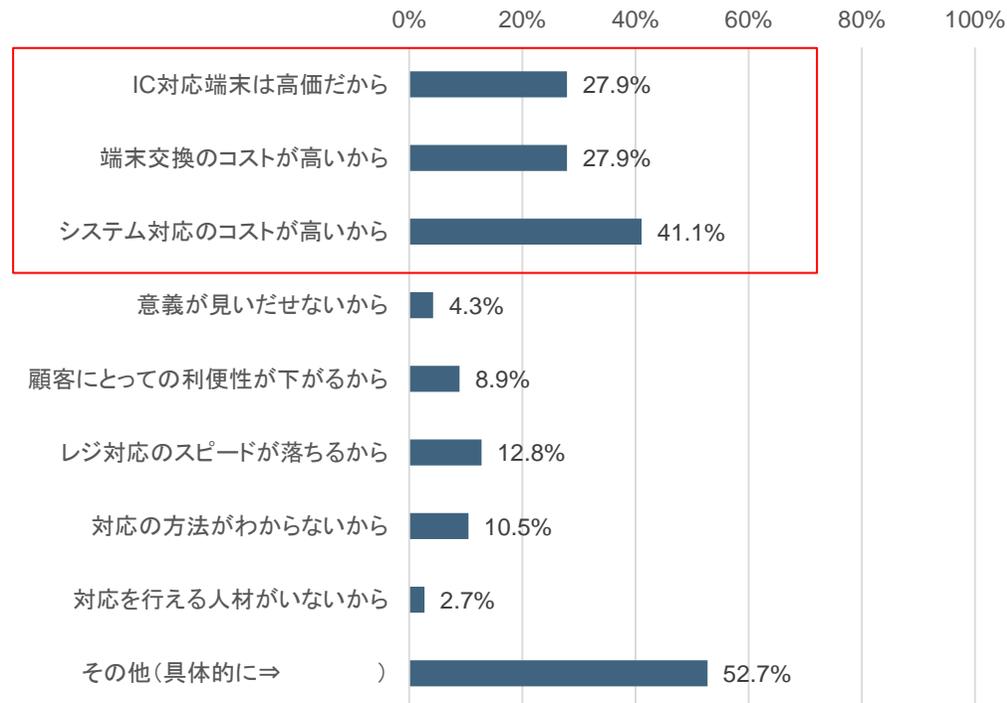


## IC化対応未着手の理由や検討上の課題(選択式回答)

**ノウハウや人材に関する理由よりも、システム対応コスト(41.1%)、IC対応端末購入コスト(27.9%)、端末交換コスト(27.9%)が課題として大きい。**

## IC化対応未着手の理由や検討上の課題(n=258)

Q: 決済端末のIC化対応未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。  
(IC化について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)

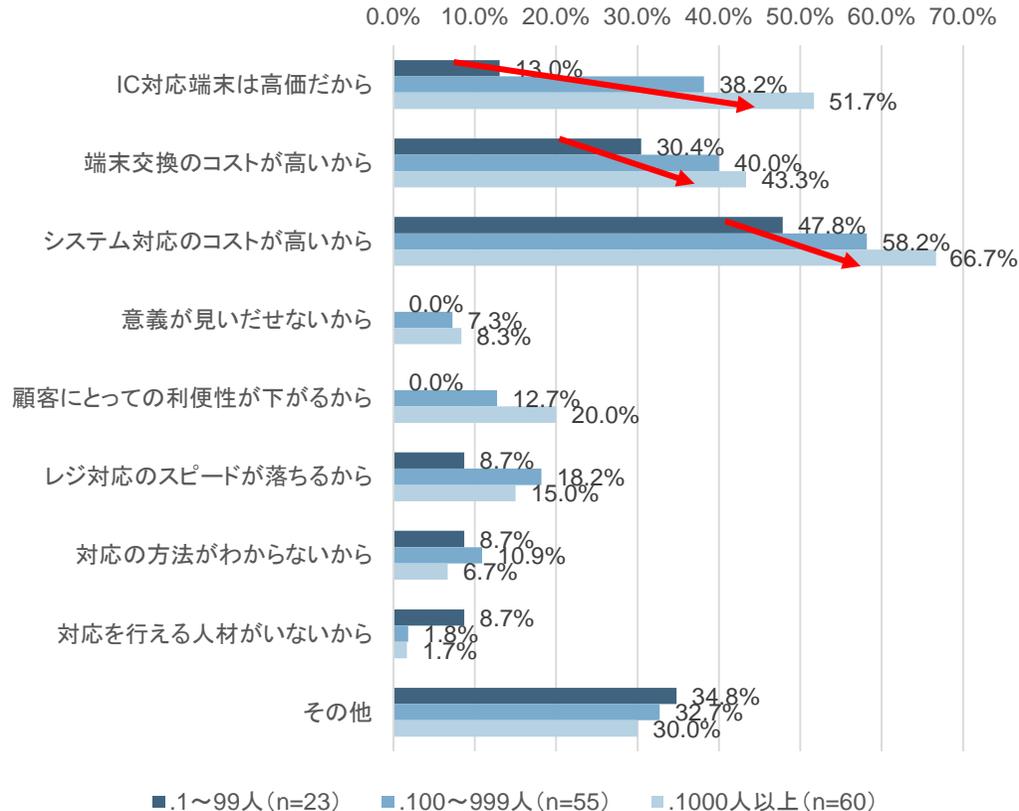


## IC化対応未着手の理由や検討上の課題(選択式回答) 企業規模別

**企業規模が大きい方が、コスト面が課題であると回答している比率が高くなる。**

### IC化対応未着手の理由や検討上の課題

Q: 決済端末のIC化対応未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。  
 (IC化について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)



## IC化対応未着手の理由や検討上の課題(選択式回答) 業種別

百貨店・SCやスーパー、コンビニにおいては、いずれも「システム対応のコストが高い」ことが最大の理由となっている。

## IC化対応未着手の理由や検討上の課題

Q: 決済端末のIC化対応未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。  
(IC化について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)

	全体	百貨店・ ショッピング センター等	スーパー・ チェーン ストア等	コンビニ	その他の 小売流通業	フード サービス	ホテル業界	鉄道	GS	道路	その他 (対面取引)
	n=258	n=74	n=89	n=11	n=27	n=2	n=31	n=25	n=17	n=4	n=22
IC対応端末は高価だから	27.9%	33.8%	33.7%	27.3%	7.4%	0.0%	83.9%	20.0%	17.6%	50.0%	27.3%
端末交換のコストが高いから	27.9%	27.0%	31.5%	27.3%	22.2%	0.0%	83.9%	32.0%	23.5%	50.0%	27.3%
システム対応のコストが高いから	41.1%	55.4%	43.8%	36.4%	18.5%	0.0%	83.9%	28.0%	29.4%	50.0%	31.8%
意義が見いだせないから	4.3%	2.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-	12.0%	5.9%	50.0%	9.1%
顧客にとっての利便性が下がるから	8.9%	5.4%	11.2%	18.2%	11.1%	0.0%	-	45.0%	23.5%	50.0%	4.5%
レジ対応のスピードが落ちるから	12.8%	5.4%	27.0%	18.2%	7.4%	0.0%	71.0%	45.0%	5.9%	50.0%	4.5%
対応の方法がわからないから	10.5%	6.8%	18.0%	9.1%	3.7%	0.0%	-	12.0%	11.8%	50.0%	0.0%
対応を行える人材がいらないから	2.7%	2.7%	4.5%	0.0%	3.7%	0.0%	-	45.0%	50.0%	50.0%	0.0%
その他	52.7%	43.2%	48.3%	54.5%	77.8%	100.0%	100.0%	28.0%	58.8%	50.0%	63.6%

IC化対応未着手の理由や検討上の課題(「その他」のフリーアンサー)

**フリーアンサーの回答116件中、POS更改時期に合わせるが34件、POS機器が未対応が13件、コスト理由が16件。**

**「POSレジの更改タイミングでの対応を検討しているため」:34件**

**具体的な回答例**

- ✓ 「次回のPOS入替えに合わせて検討予定」
- ✓ 「POS更改については、2.3年先を目処に検討しており、現時点での対応時期は未定。」
- ✓ 次回のPOS更新時期(2年後)に合わせて対応を検討予定の為、現状未着手

**「POSレジ更改のコストが高いため」:16件**

**具体的な回答例**

- ✓ 「端末コストの費用負担、POSアプリケーションの改修コストが重い」
- ✓ 「インフラ投資コストに数億円がかかってしまう」
- ✓ 「数年先までシステム開発・改修計画がほぼ確定しており、経営資源を割り当てられない」

**「POSベンダー側の未対応のため」:13件**

**具体的な回答例**

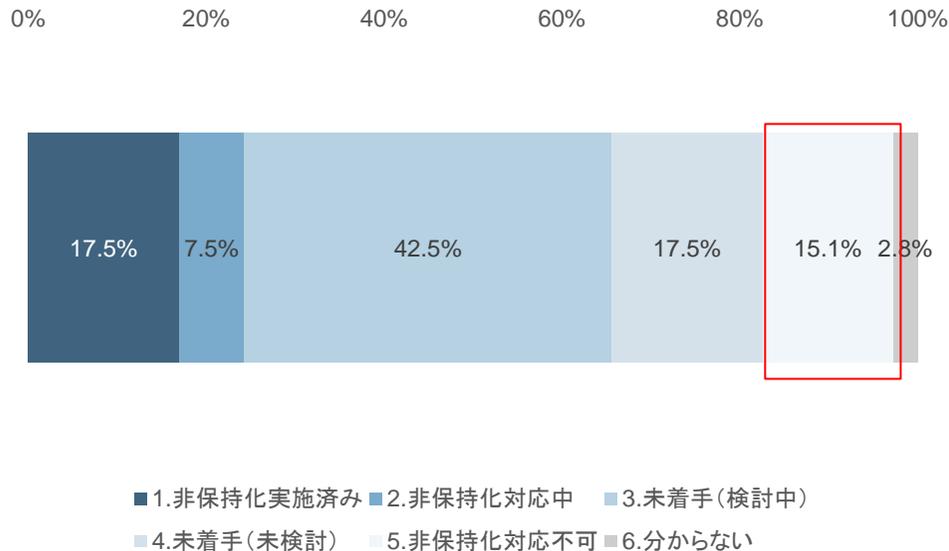
- ✓ 「POSベンダー側が対応が出来ていないため」
- ✓ 「自社単独では開発できないためPOSベンダーに要望を出しているが、未対応」
- ✓ 「POSベンダー対応待ち」

## 非保持化対応状況・対応／検討スケジュール

**非保持化については対応不可の企業が15.1%存在。  
対応／検討スケジュールは37.1%が「わからない」と回答。**

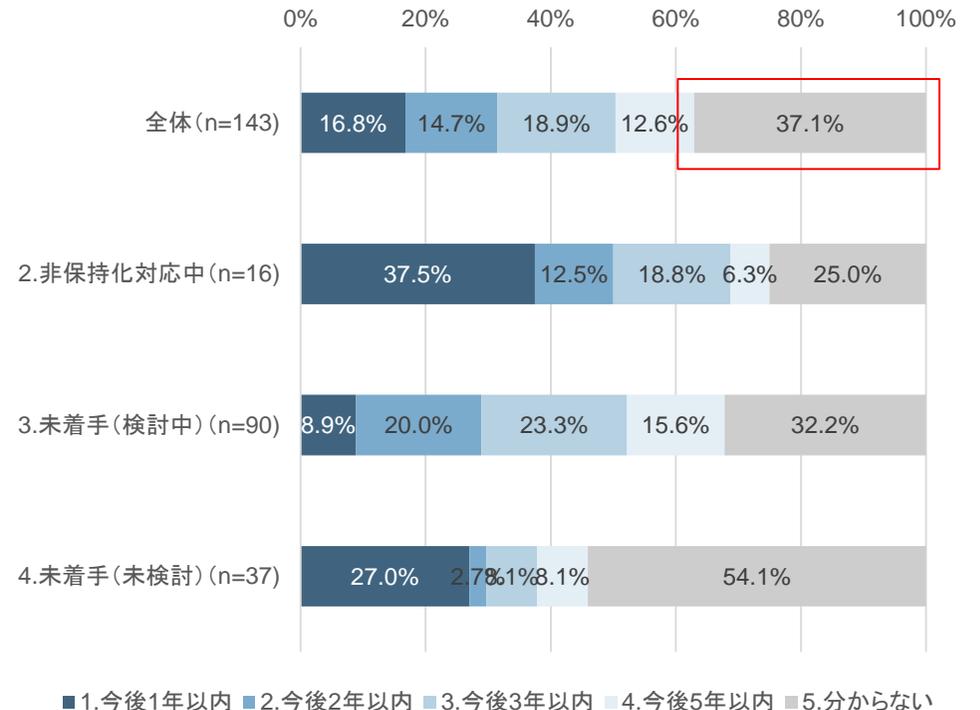
### 非保持化対応状況(n=212)

Q: カード情報の非保持化対応状況についてお答えください。  
(「カード情報は自社サーバを通過したうえでカード会社に送信される」と回答している企業のうち、有効回答のみ)



### 非保持化対応／検討スケジュール(n=143)

Q: カード情報の非保持化の対応／検討スケジュールについてお答えください。  
(「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)

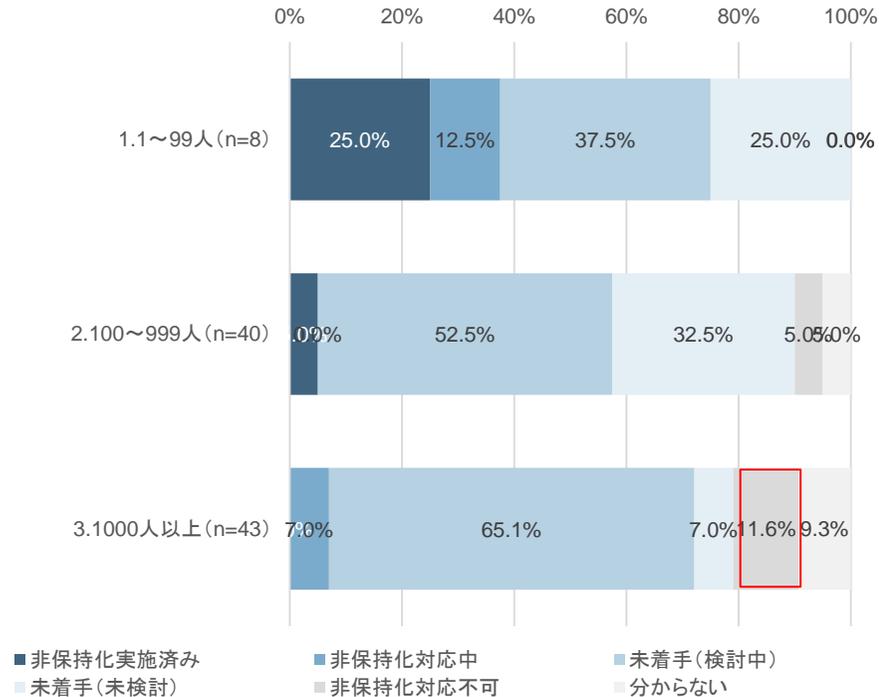


## 非保持化対応状況・対応／検討スケジュール 企業規模別

**1000人以上の企業のうち、11.6%が非保持化について対応不可と回答。  
対応／検討スケジュールは26.5%が「わからない」と回答。**

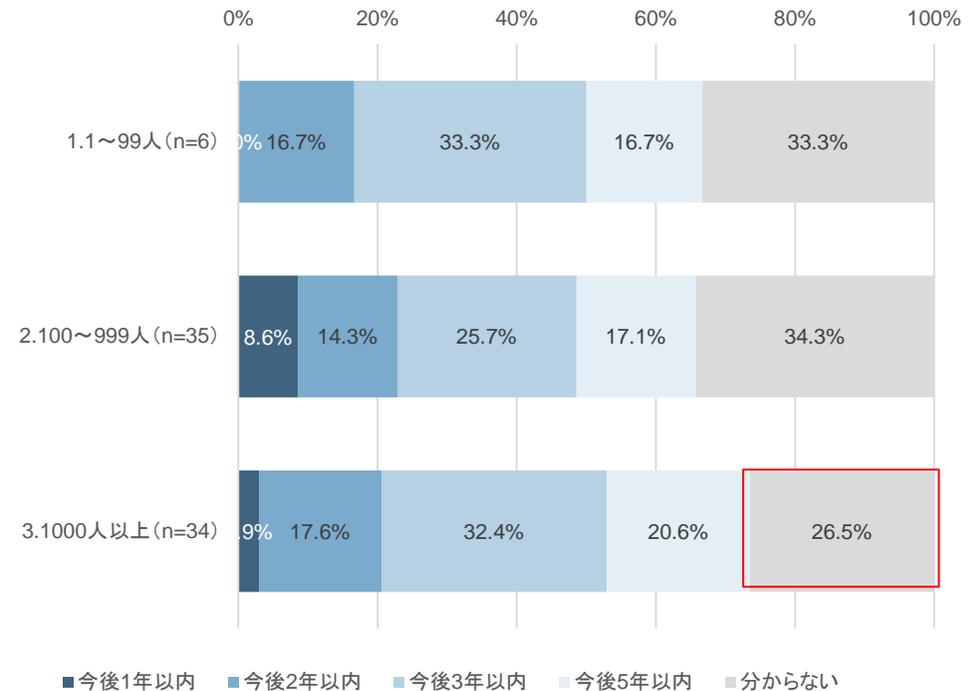
### 非保持化対応状況

Q: カード情報の非保持化対応状況についてお答えください。  
(「カード情報は自社サーバを通過したうえでカード会社に送信される」と回答している企業のうち、有効回答のみ)



### 非保持化対応／検討スケジュール

Q: カード情報の非保持化の対応／検討スケジュールについてお答えください。  
(「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)



## 非保持化対応状況(PCI-DSS対応状況別)

# 非保持化とPCIDSS準拠のいずれも未検討等と回答した企業が21.7%。

■ 従業員規模1,000人以上の企業・施設は、その大半が非保持化とPCI-DSS準拠の双方を検討中。

## 非保持化対応状況(PCI-DSS対応状況別)

Q:カード情報の非保持化対応状況についてお答えください。  
 (「カード情報は自社サーバを通過したうえでカード会社に送信される」と回答している企業のうち、有効回答のみ)

	1.PCI-DSS準拠完了	2.PCI-DSS準拠対応中	3.未着手(検討中)	4.未着手(未検討)	5.分からない	総計
1.非保持化実施済み	1	3		1		5
2.非保持化対応中	1	1	3			5
3.未着手(検討中)		1	75	13	1	90
4.未着手(未検討)		2	6	24	5	37
5.非保持化対応不可	5	3	15	8	1	32
6.分からない	1			4	1	6
総計	8	10	99	50	8	175

21.7%

## 非保持化対応状況(PCI-DSS対応状況別・1,000人以上のみ)

Q:カード情報の非保持化対応状況についてお答えください。  
 (「カード情報は自社サーバを通過したうえでカード会社に送信される」と回答している企業のうち、有効回答のみ)

	1.PCI-DSS準拠完了	2.PCI-DSS準拠対応中	3.未着手(検討中)	4.未着手(未検討)	5.分からない	総計
3.未着手(検討中)			23	5		28
4.未着手(未検討)			1	2		3
5.非保持化対応不可	1		3		1	5
6.分からない	1			3		4
総計	2		27	10	1	40

8%

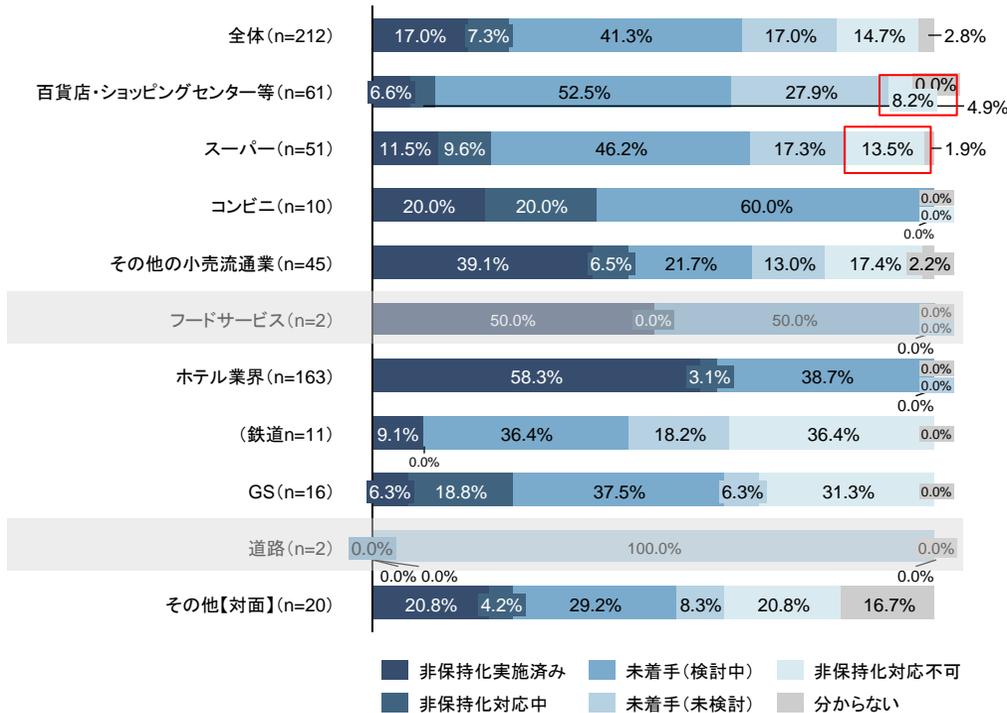
- : 非保持化への移行で対応
- : PCI-DSS準拠で対応
- : 非保持化とPCIDSS準拠のいずれも未検討等

## 非保持化対応状況・対応／検討スケジュール

# 百貨店・ショッピングセンターでは8.2%、スーパーでは13.5%が「非保持化対応不可」と回答。

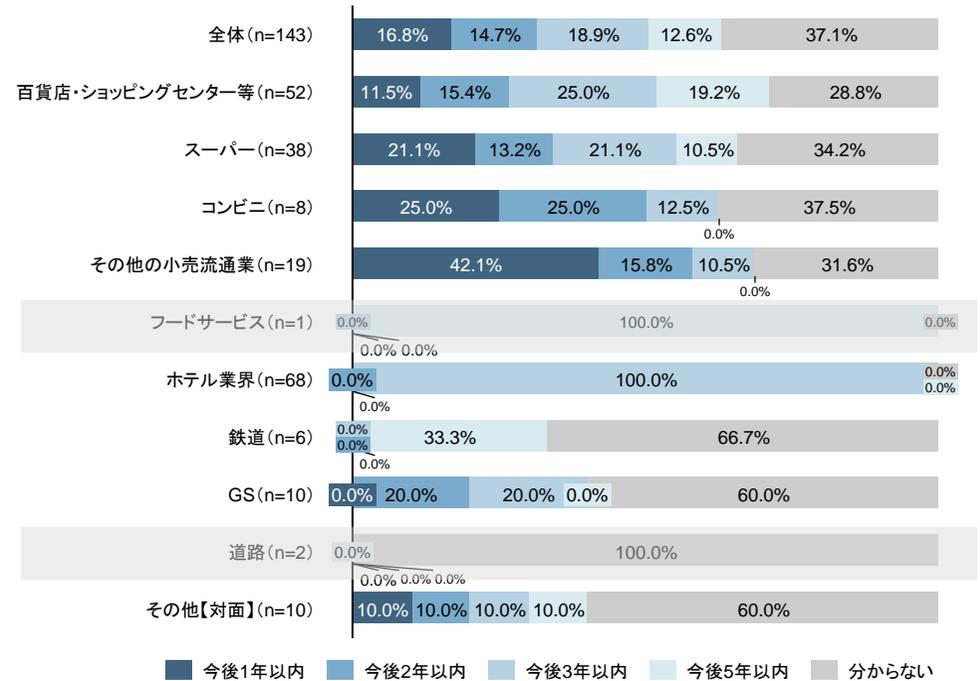
### 非保持化対応状況

Q: カード情報の非保持化対応状況についてお答えください。  
 (「カード情報は自社サーバを通過したうえでカード会社に送信される」と回答している企業のうち、有効回答のみ)(業種別有効回答 n=212)



### 非保持化対応／検討スケジュール

Q: カード情報の非保持化の対応／検討スケジュールについてお答えください。  
 (「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
 対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)  
 (業種別有効回答 n=143)

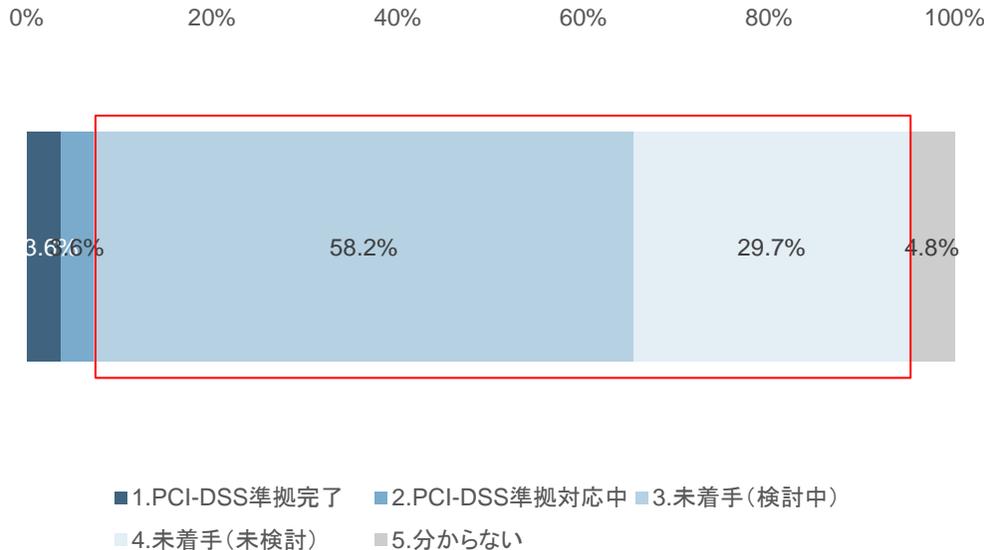


## PCI-DSS準拠状況・対応／検討スケジュール

PCI-DSS準拠については未着手の企業が87.9%。対応／検討スケジュールも48.1%が「わからない」と回答。

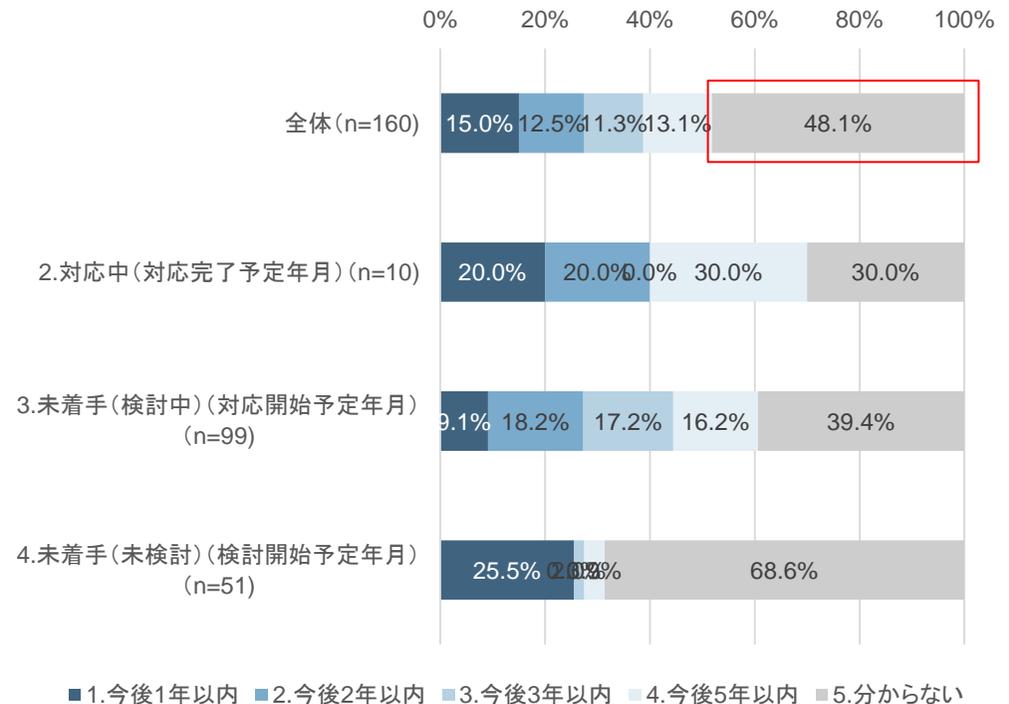
### PCI-DSS準拠状況(n=165)

Q: PCI-DSS準拠状況についてお答えください。  
 (非保持化について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」「非保持化対応不可」「わからない」と回答している企業のうち、有効回答のみ)



### PCI-DSS準拠対応／検討スケジュール(n=147)

Q: PCI-DSS準拠の対応／検討スケジュールについてお答えください。  
 (「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
 対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)

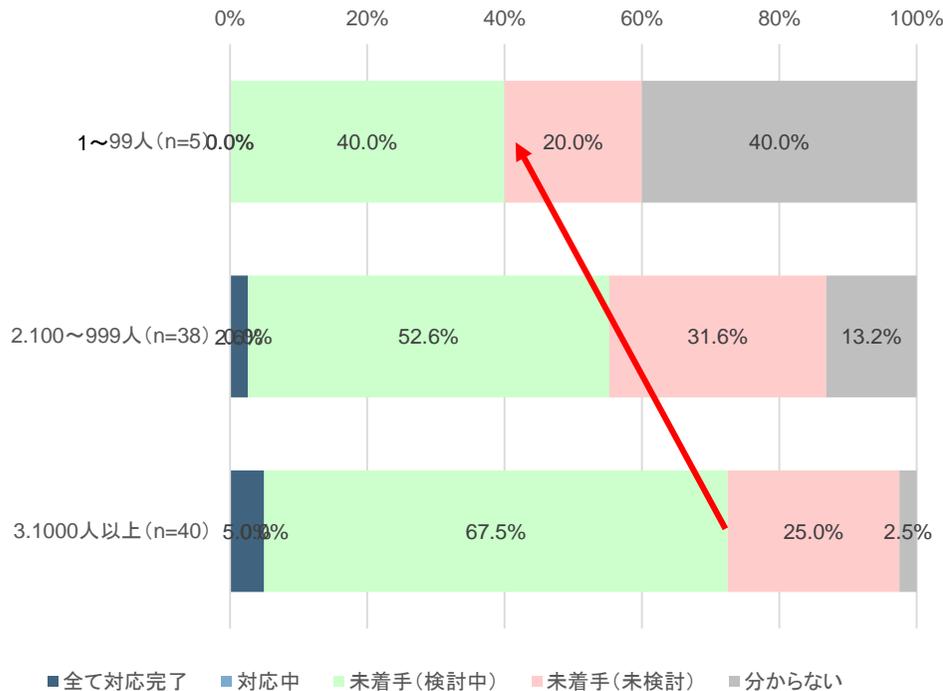


## PCI-DSS準拠状況・対応／検討スケジュール 企業規模別

PCI-DSS準拠については企業規模の小さい企業ほど検討していない、わからないと回答している比率が高い。また、規模の大きい企業ほど予定が立っている。

### PCI-DSS準拠状況

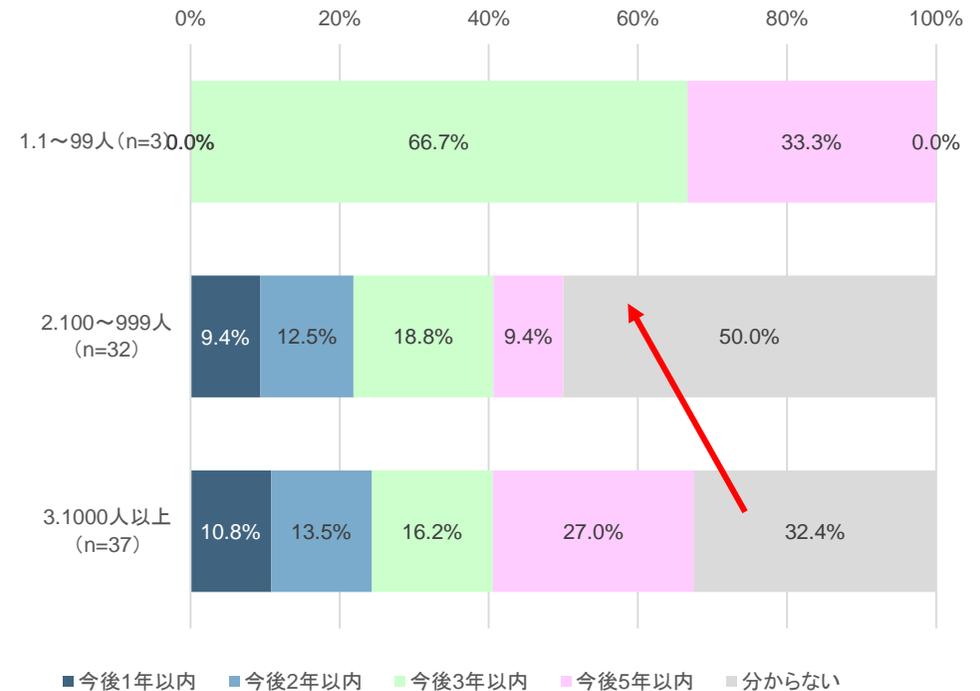
Q: PCI-DSS準拠状況についてお答えください。  
 (非保持化について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」「非保持化対応不可」「わからない」と回答している企業のうち、有効回答のみ)



※対応中は0%

### PCI-DSS準拠対応／検討スケジュール

Q: PCI-DSS準拠の対応／検討スケジュールについてお答えください。  
 (「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
 対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)

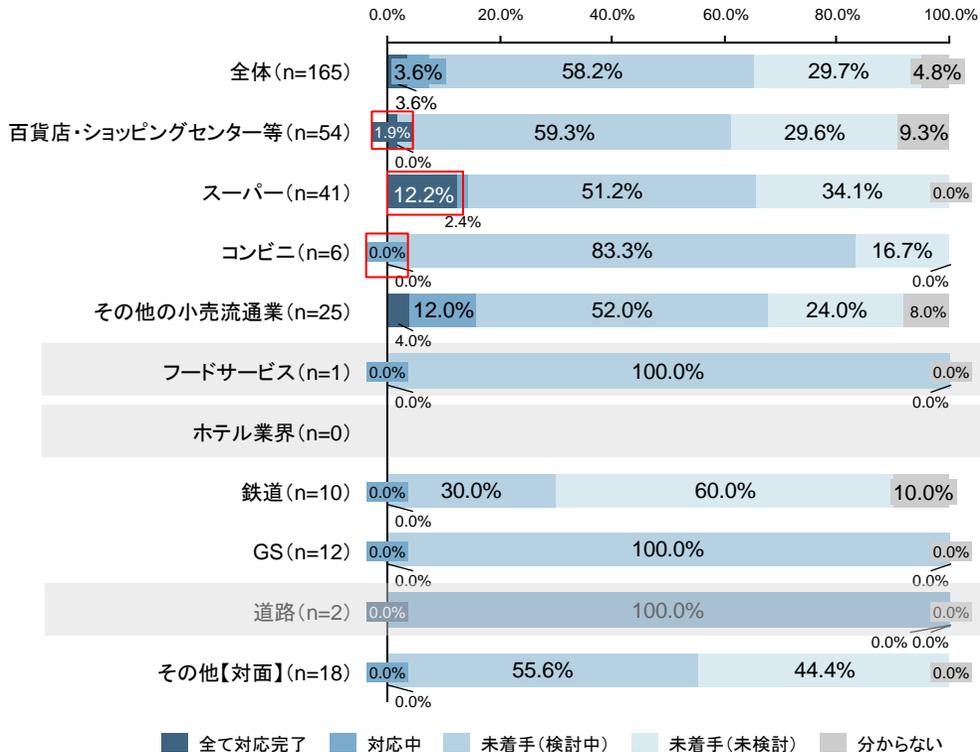


## PCI-DSS準拠状況・対応／検討スケジュール 業種別

PCI-DSSの準拠について、スーパーは12.2%が対応完了している一方、百貨店・ショッピングセンターは1.9%、コンビニは0.0%となっている。

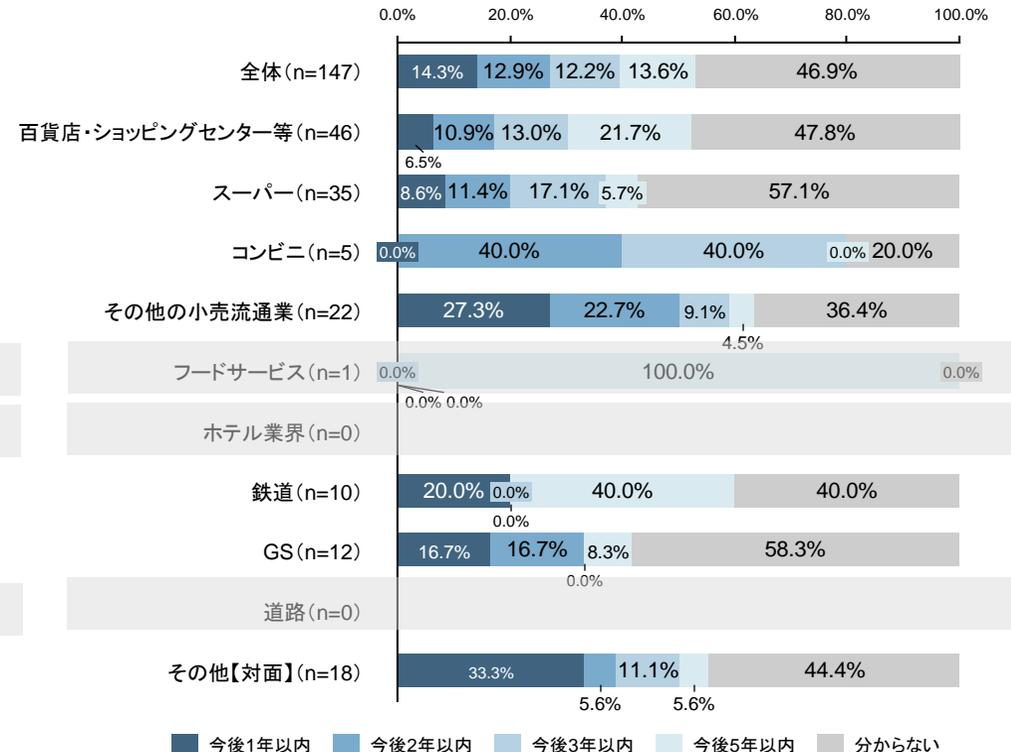
### PCI-DSS準拠状況

Q: PCI-DSS準拠状況についてお答えください。  
 (非保持化について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」「非保持化対応不可」「わからない」と回答している企業のうち、有効回答のみ)  
 (業種別有効回答: n=165)



### PCI-DSS準拠対応／検討スケジュール

Q: PCI-DSS準拠の対応／検討スケジュールについてお答えください。  
 (「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」の企業が対象。  
 対応中の企業は対応完了予定年月、「未着手(検討中)」の企業は対応開始予定年月、「未着手(未検討)」の企業は検討開始予定年月を回答)  
 (業種別有効回答: n=147)

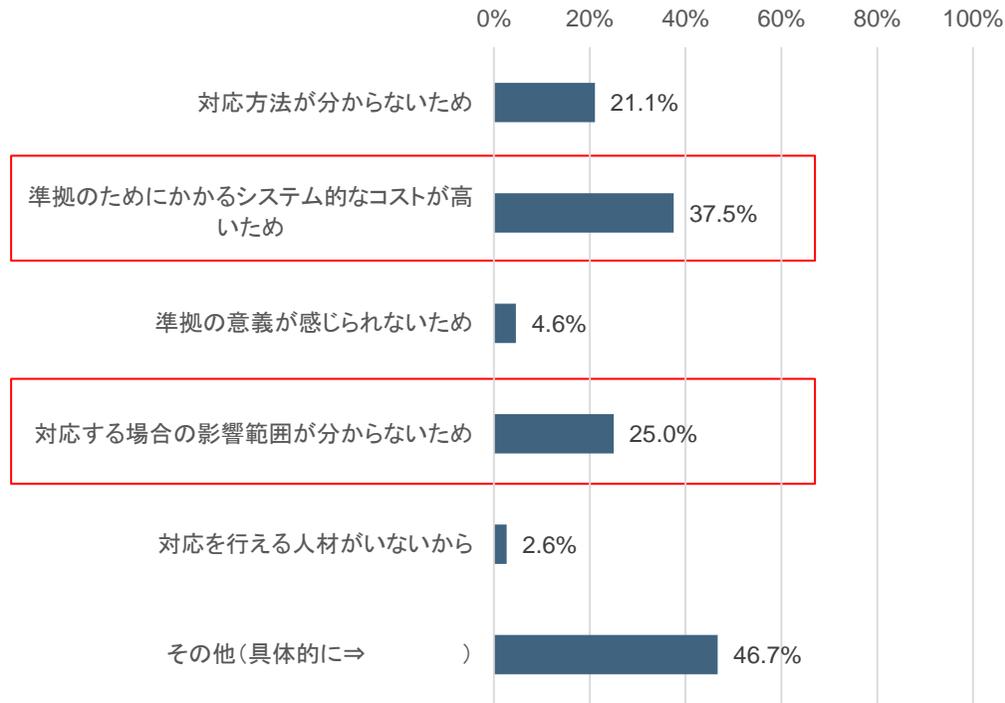


## PCI-DSS未着手の理由や課題(選択式回答)

**ノウハウや人材に関する理由よりも、システム対応コスト(37.5%)、影響範囲がわからないこと(25.0%)が課題として大きい。**

## PCI-DSS未着手の理由や課題(n=152)

Q: PCI-DSS準拠未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。  
(PCI-DSS準拠について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)

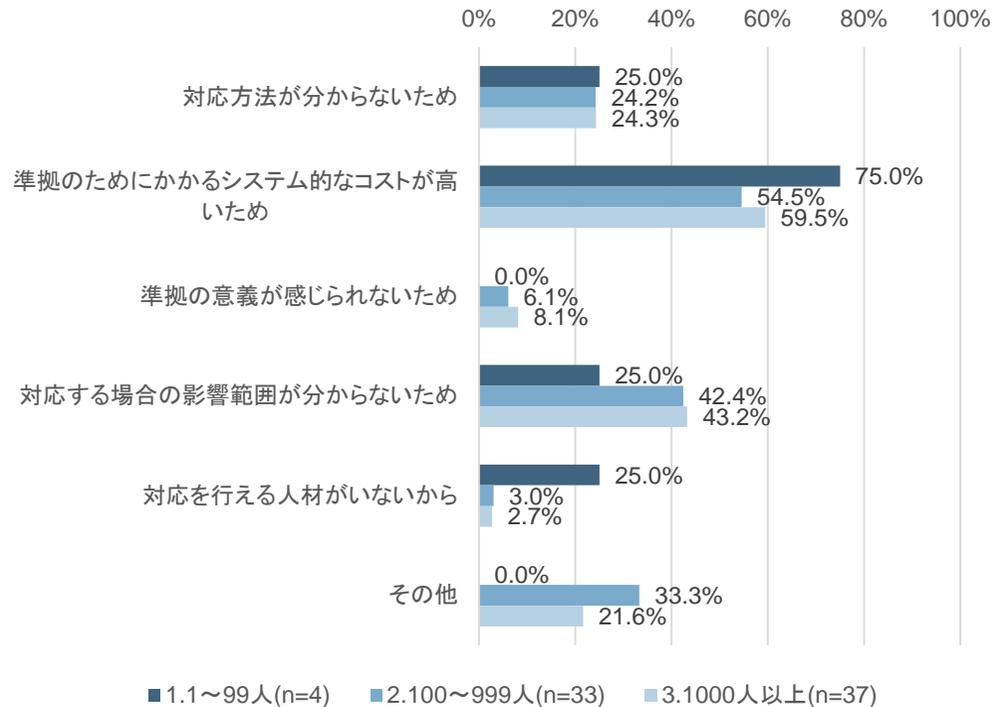


PCI-DSS未着手の理由や課題(選択式回答) 企業規模別

PCI-DSS未着手の理由や課題に関する、企業規模による差は小さい。

PCI-DSS未着手の理由や課題

Q: PCI-DSS準拠未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。  
 (PCI-DSS準拠について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)



## PCI-DSS未着手の理由や課題(選択式回答) 業種別

PCI-DSS未着手の理由や課題について、百貨店・ショッピングセンターでは「システム対応コスト」の比率が最も高い(56.5%)。

## PCI-DSS未着手の理由や課題

Q: PCI-DSS準拠未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。  
(PCI-DSS準拠について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)  
(業種別有効回答: n=152)

	全体	百貨店・ ショッピング センター等	スーパー・ チェーンスト ア等	コンビニ	その他の小 売流通業	フードサー ビス	ホテル業界	鉄道	GS	道路	その他 【対面】
	n=152	n=46	n=42	n=11	n=16	n=1	n=0	n=9	n=15	n=0	n=19
対応方法が分からないため	21.1%	23.9%	35.7%	27.3%	0.0%	0.0%	-	44.4%	6.7%	-	10.5%
準拠のためにかかる体系的なコストが高いため	37.5%	56.5%	35.7%	27.3%	18.8%	0.0%	-	22.2%	33.3%	-	26.3%
準拠の意義が感じられないため	4.6%	2.2%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-	5.3%
対応する場合の影響範囲が分からないため	25.0%	23.9%	28.6%	0.0%	12.5%	0.0%	-	44.4%	20.0%	-	31.6%
対応を行える人材がいないから	2.6%	6.5%	2.4%	18.2%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-	0.0%
その他	46.7%	43.5%	26.2%	18.2%	81.3%	100.0%	-	44.4%	66.7%	-	47.4%

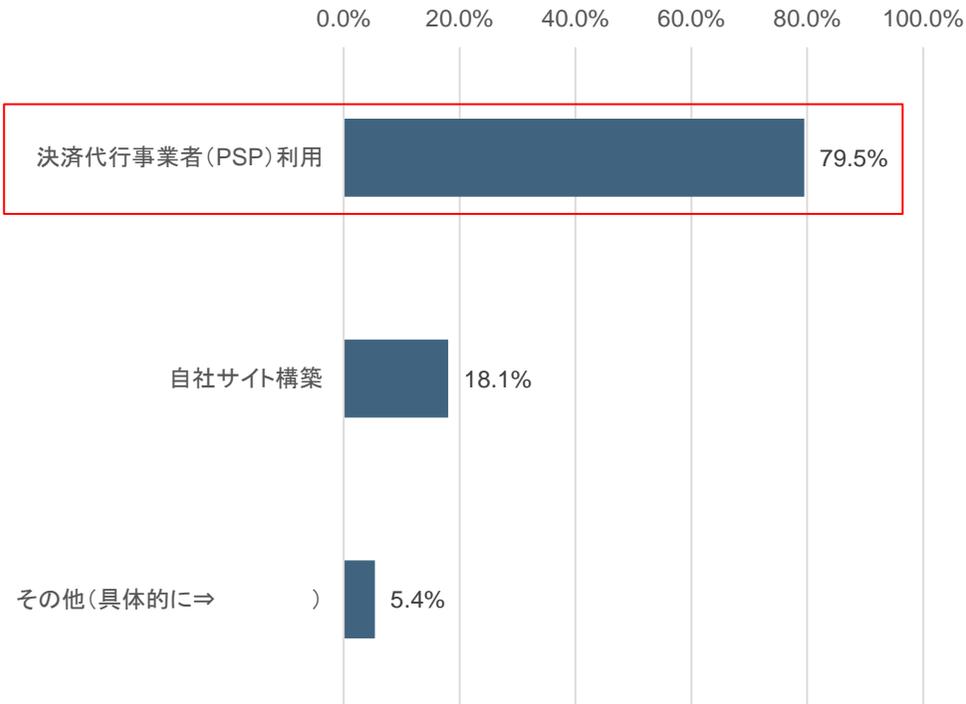
## カード決済システムの実装方法・内容

カード決済システムはPSP利用が79.5%を占める。

カード決済システムの方式については、モジュール型が57.8%を占めている。

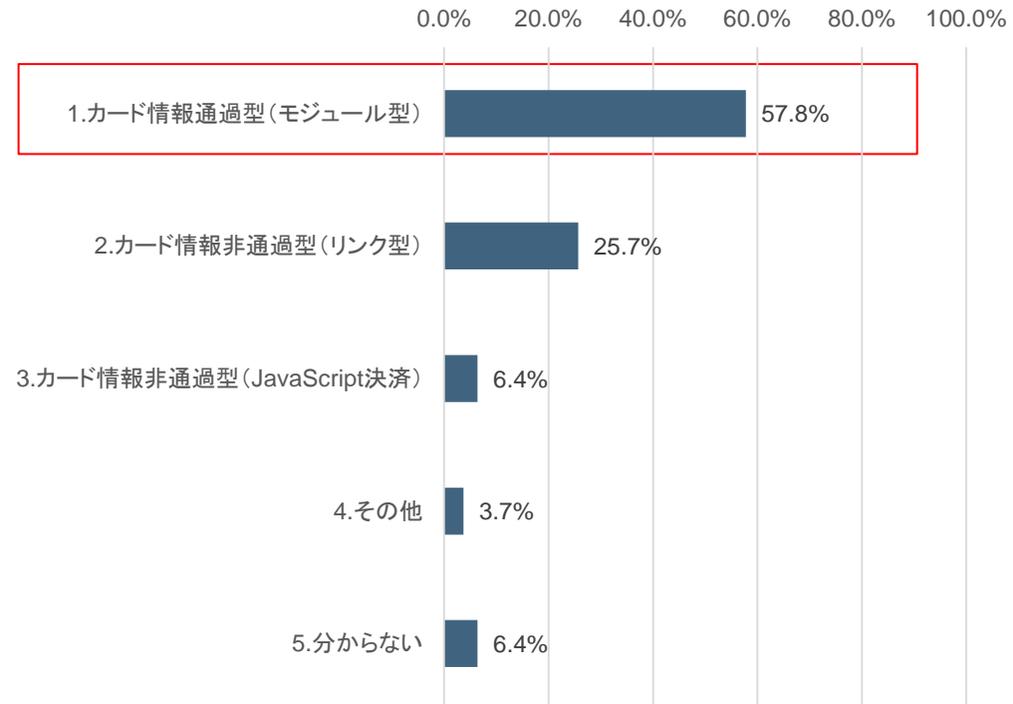
## カード決済システムの実装方法(n=371)

Q: 貴社ECサイトでのクレジットカードの取り扱いにおける、カード決済システムの実装方法についてお答えください。



## カード決済システムの内容(n=296)

Q: 利用されているPSPのカード決済システムの方式についてお答えください。

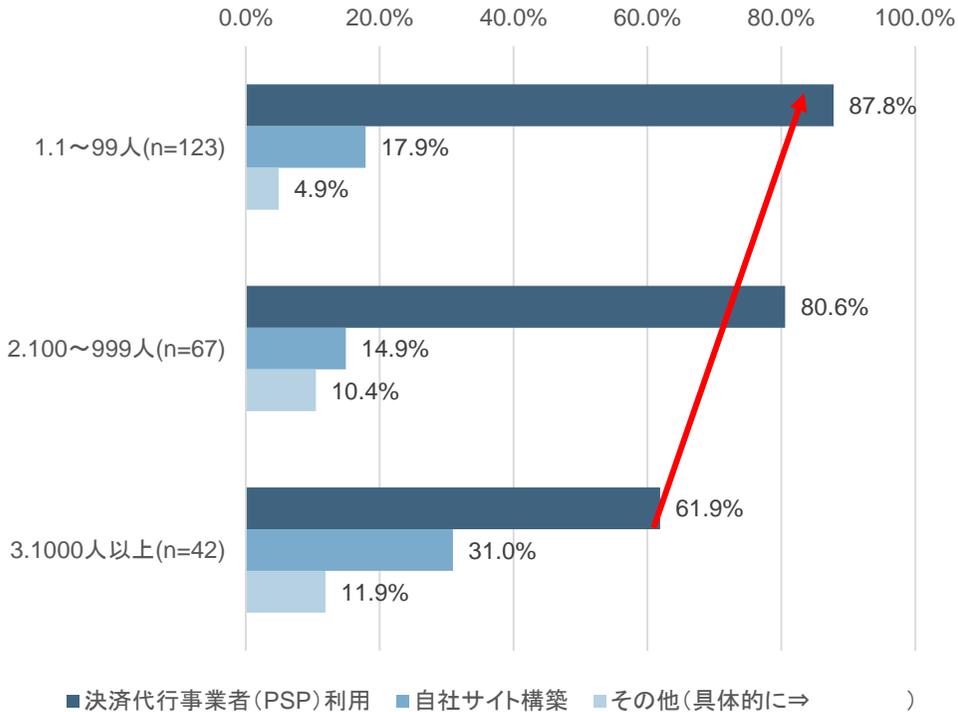


## カード決済システムの実装方法・内容 企業規模別

企業規模が小さいほどPSP利用が増加。  
また、企業規模が大きくなるほどリンク型の採用率は下がる。

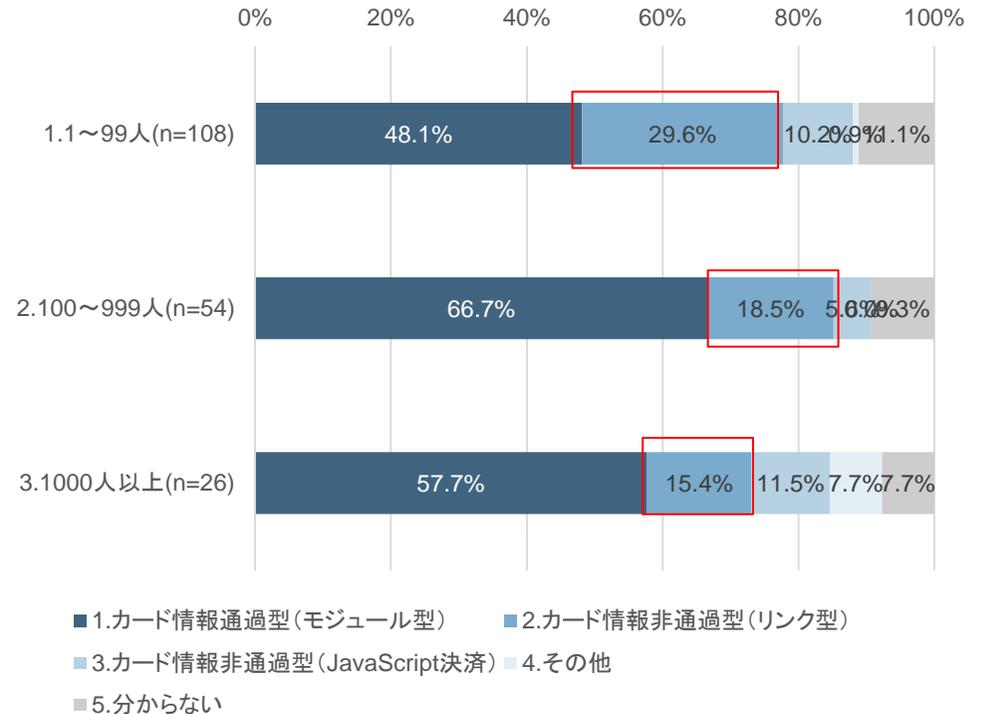
## カード決済システムの実装方法

Q: 貴社ECサイトでのクレジットカードの取り扱いにおける、カード決済システムの実装方法についてお答えください。



## カード決済システムの内容

Q: 利用されているPSPのカード決済システムの方式についてお答えください。

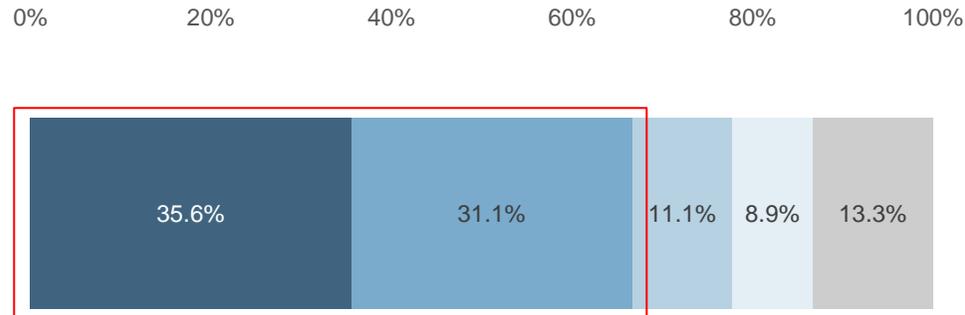


## カード決済システムの構築内容

## 自社内製とアクワイアラによる決済ソリューションが同等程度に高い。

## カード決済システムの構築内容(n=45)

Q:カード決済システムについて、自社で構築しているとお答えの方にお伺いします。  
貴社ではどのような方法でカード決済システムを構築していますか。



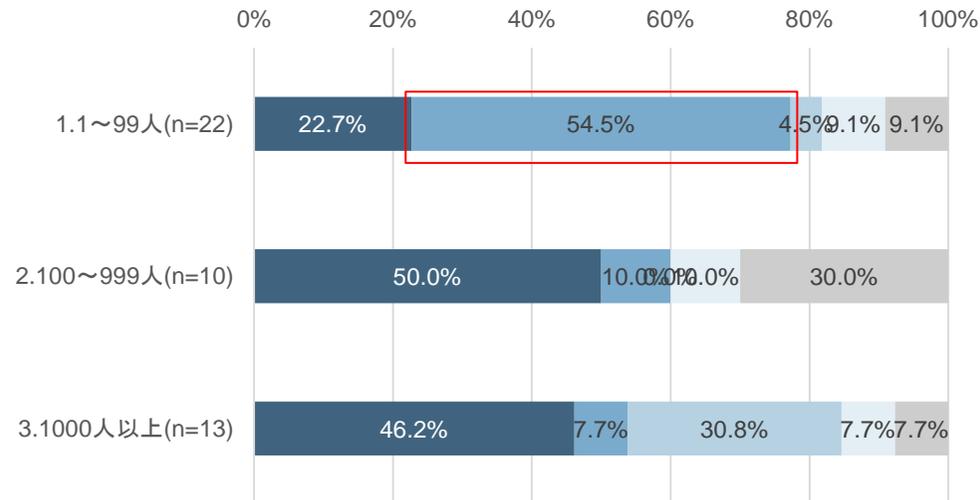
- 1. 自社でカード決済システムを内製した
- 2. アクワイアラ等が提供している決済ソリューションを活用している
- 3. アクワイアラ以外 (Slerやパッケージベンダ、ショッピングモール等) の決済ソリューションを活用している
- 4. その他
- 5. 分からない

## カード決済システムの構築内容 企業規模別

小規模企業はアクワイアラ等が提供している決済ソリューションの利用率が最も高い(54.5%)。

## カード決済システムの構築内容

Q:カード決済システムについて、自社で構築しているとお答えの方にお伺いします。  
貴社ではどのような方法でカード決済システムを構築していますか。



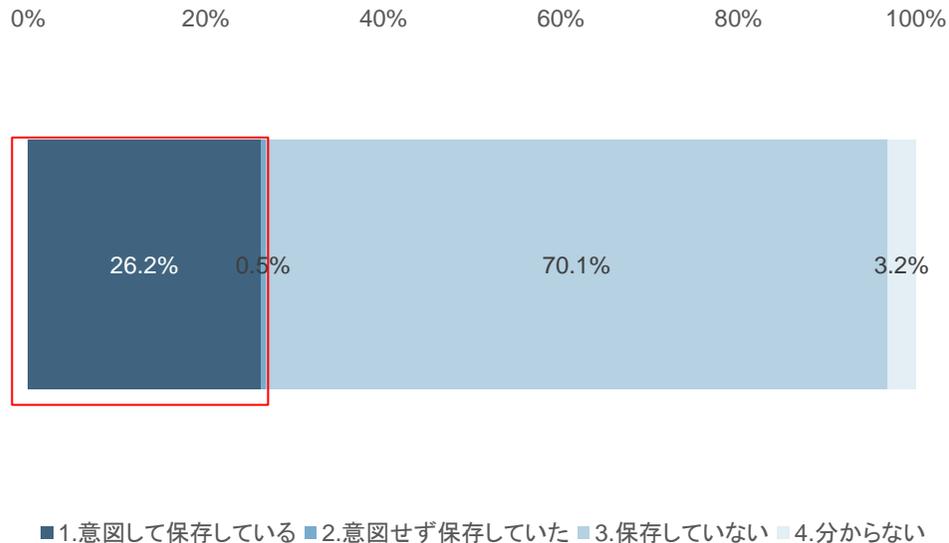
- 1.自社でカード決済システムを内製した
- 2.アクワイアラ等が提供している決済ソリューションを活用している
- 3.アクワイアラ以外(Sierやパッケージベンダ、ショッピングモール等)の決済ソリューションを活用している
- 4.その他
- 5.分からない

## カード情報の「保存」状態・理由

カード情報を意図して保存している企業は26.2%存在。  
理由としては、「顧客対応で利用しているため」が77.3%と大半を占めている。

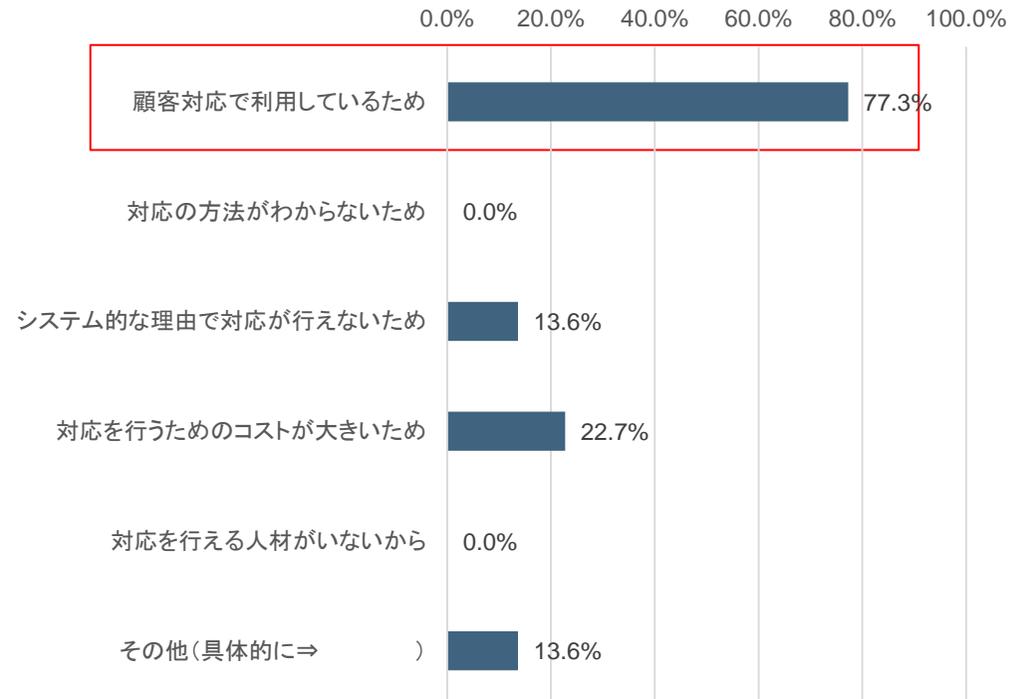
## カード情報の「保存」状態(n=187)

Q: 貴社ECサイトの貴社サーバー等に、カード情報や決済情報等を「保存」しているかについて、お答えください。



## カード情報の保存理由(n=22)

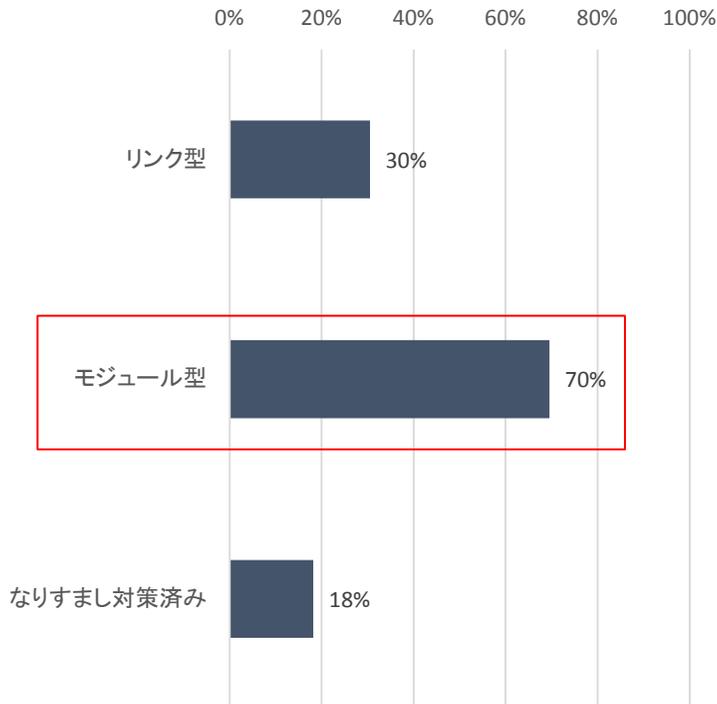
Q: カード情報を意図して保存しているとお答えの方にお伺いします。どのような理由でカード情報を保存しているのかについて、お答えください。



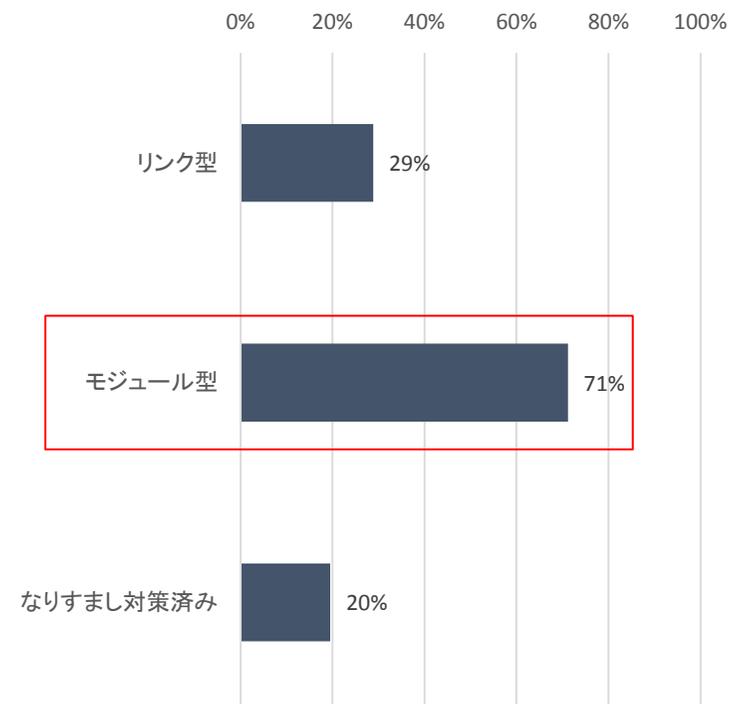
## カード情報の「保存」状態

決済代行事業者の加盟店では、モジュール型採用企業が約70%となっている。

決済方式となりすまし対策状況※(事業所数、n=108,043)



決済方式となりすまし対策状況※(店舗数、n=118,516)



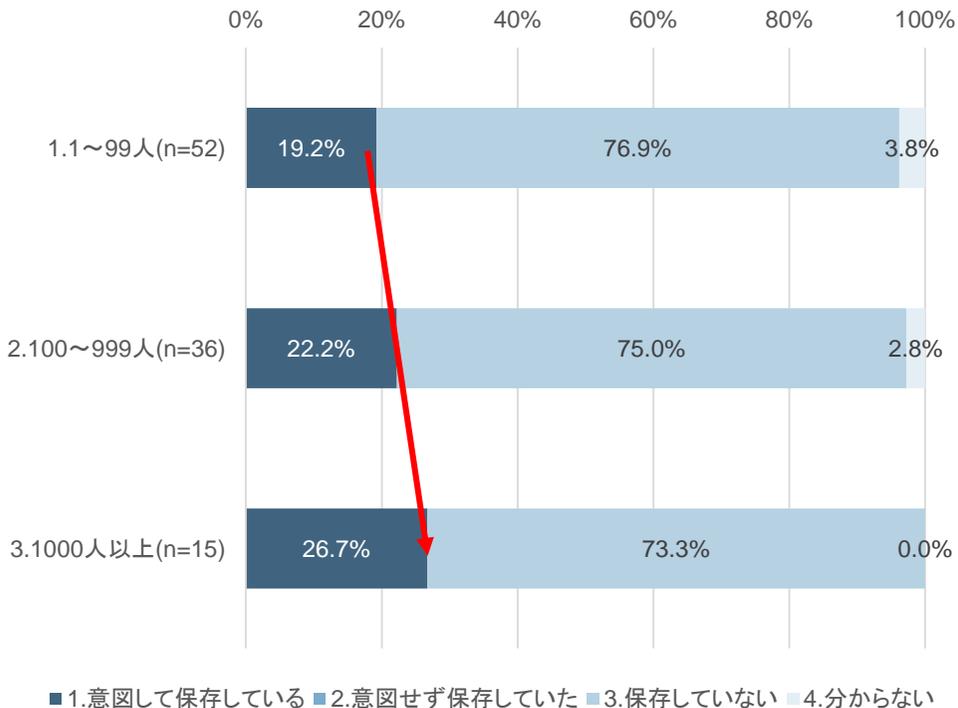
※:実行計画レベル

## カード情報の「保存」状態・理由 企業規模別

企業規模が大きいほど、カード情報を意図して保存している比率が高い。

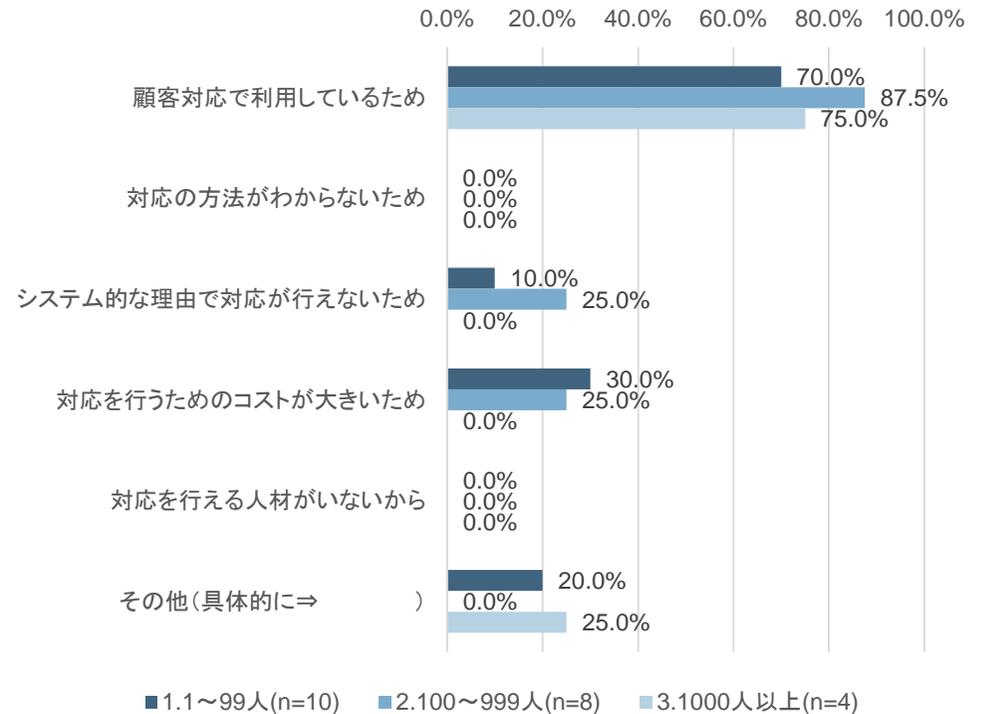
## カード情報の「保存」状態(n=192)

Q: 貴社ECサイトの貴社サーバー等に、カード情報や決済情報等を「保存」しているかについて、お答えください。



## カード情報の保存理由(n=23)

Q: カード情報を意図して保存しているとお答えの方にお伺いします。どのような理由でカード情報を保存しているのかについて、お答えください。



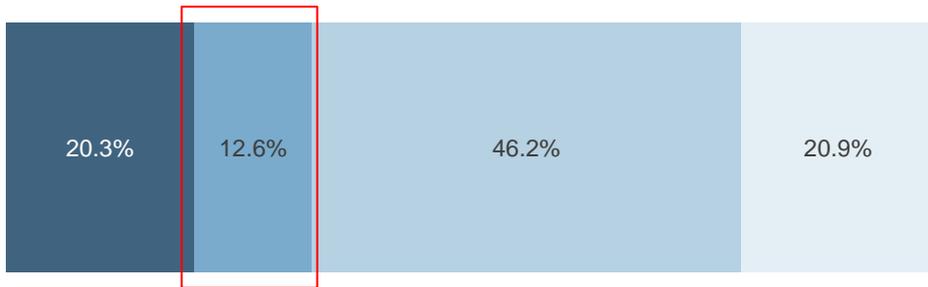
## 非保持化対応状況・対応／検討スケジュール

非保持化は可能と回答した企業のうち、51.2%の企業は、非保持化対応スケジュールについては未定と回答。

## カード情報の非保持化実施可否(n=182)

Q: カード情報を保持しない「非通過型(リンク型・JavaScript決済)」への移行の可否についてお答えください

0% 20% 40% 60% 80% 100%

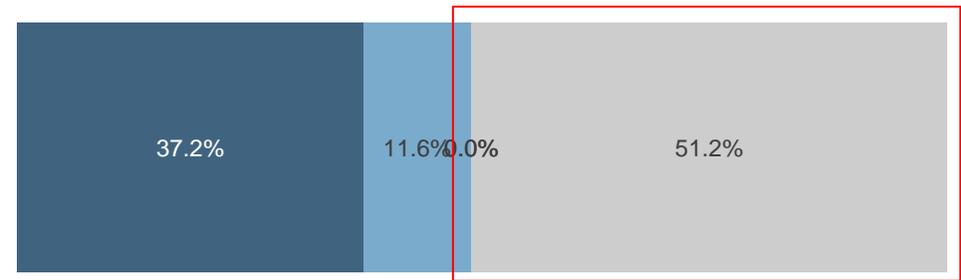


■ 1. 非通過型への移行可能 ■ 2. 非通過型への移行不可能 ■ 3. 検討中 ■ 4. 分からない

## カード情報の非保持化対応スケジュール(n=44)

Q: カード情報の非保持化対応／検討スケジュールについてお答えください。  
(「非通過型への移行可能」と答えた企業のみ)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



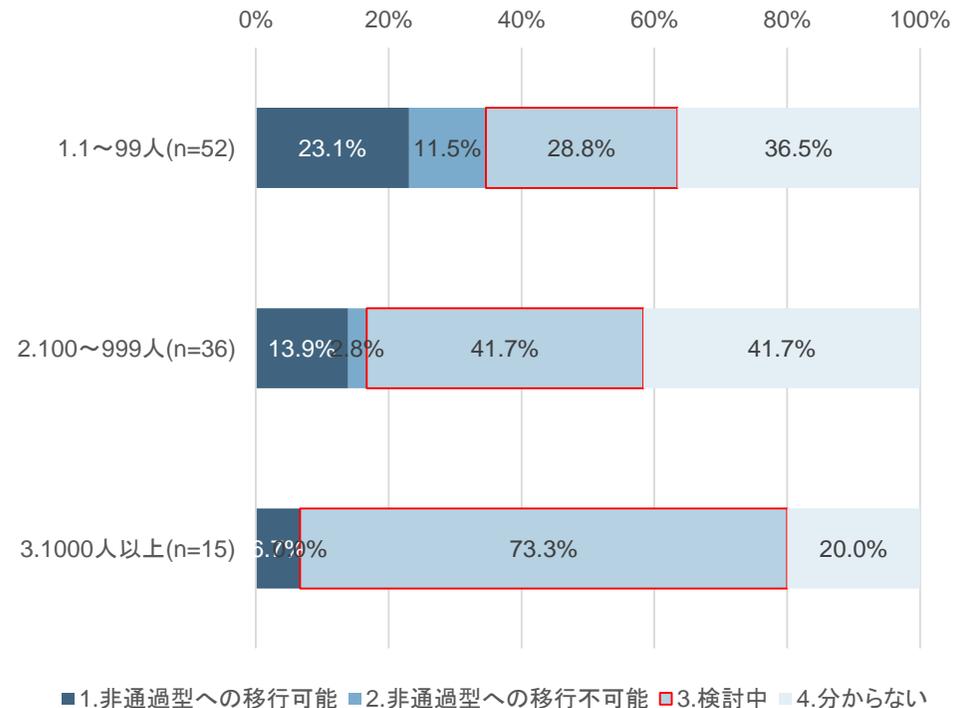
■ 今後1年以内 ■ 今後2年以内 ■ 今後3年以内 ■ 今後5年以内 ■ 分からない

## 非保持化対応状況・対応／検討スケジュール 企業規模別

企業規模が大きいほど、「移行不可能」と答えている比率が高くなる。

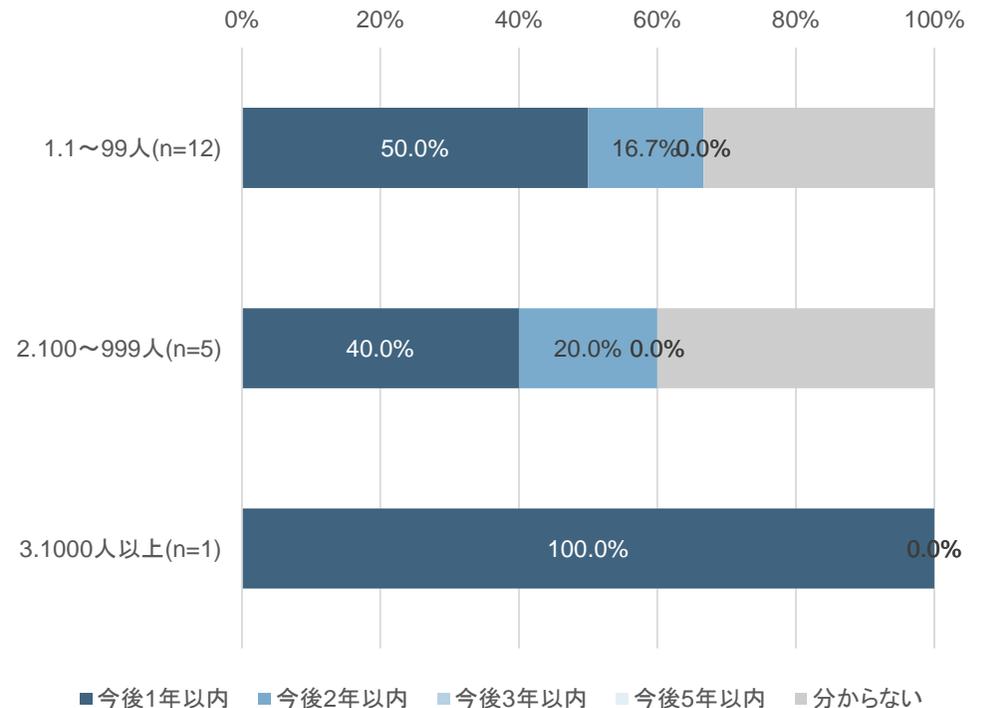
## カード情報の非保持化実施可否

Q: カード情報を保持しない「非通過型(リンク型・JavaScript決済)」への移行の可否についてお答えください



## カード情報の非保持化対応スケジュール

Q: カード情報の非保持化対応／検討スケジュールについてお答えください。  
(「非通過型への移行可能」と答えた企業のみ)



## 非保持化対応状況(PCI-DSS対応状況別)

非保持化は不可能としつつ、PCI-DSS準拠について未検討と回答した企業は約13%。

## 非保持化対応状況(PCI-DSS対応状況別)

Q:カード情報の非保持化対応状況についてお答えください。  
 (「カード情報は自社サーバを通過したうえでカード会社に送信される」と回答している企業のうち、有効回答のみ)

	1.PCI-DSS 準拠完了	2.PCI-DSS 準拠対応中	3.未着手 (検討中)	4.未着手 (未検討)	5.分からな い	総計
1.非通過型へ の移行可能	1		3	3		7
3.検討中	1		2	4		7
2.非通過型へ の移行不可 能	3	3	7	4	12.9%	17
総計	5	3	12	11		31

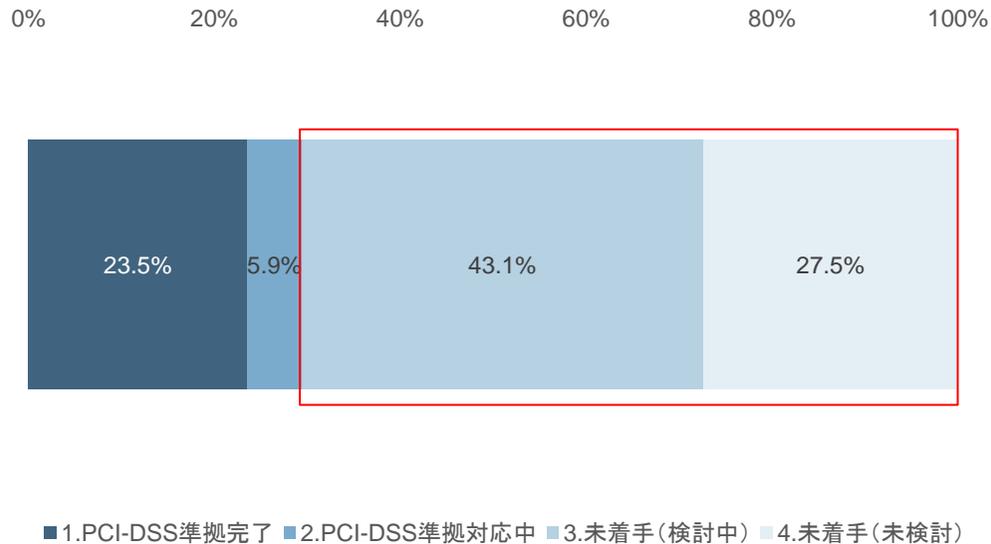
- : 非保持化への移行で対応
- : PCI-DSS準拠で対応
- : 非保持化不可能でありPCI-DSS準拠の見通しなし

## PCI-DSS準拠状況・対応／検討スケジュール

PCI-DSS準拠状況については70.6%が「未着手」と回答。  
スケジュールも「わからない」が63.9%を占める。

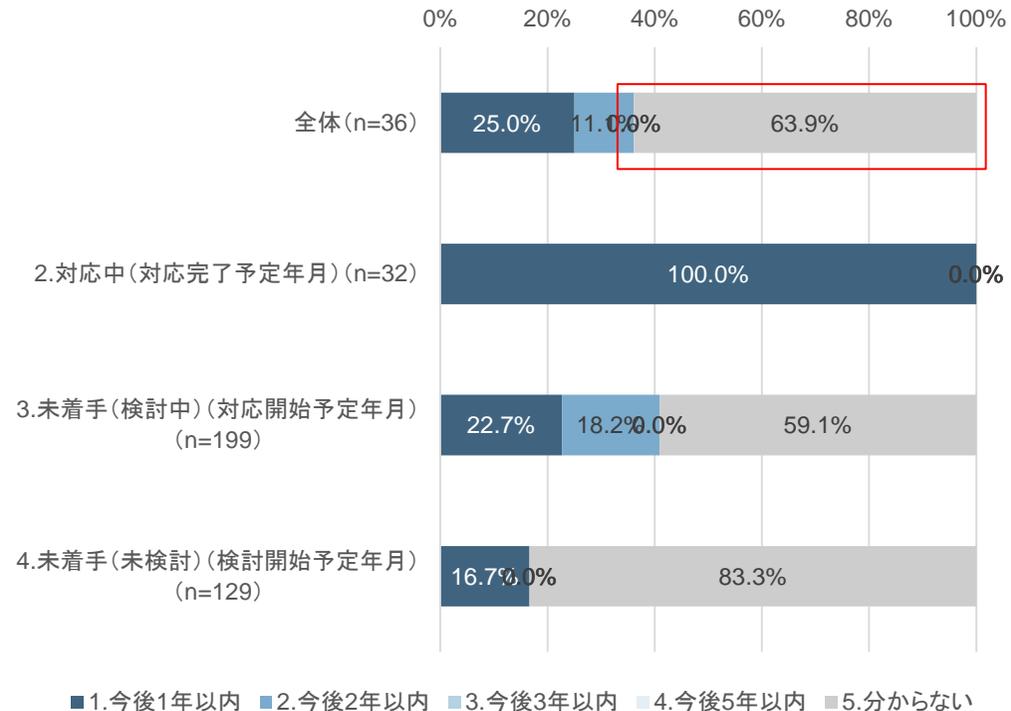
## PCI-DSS準拠状況(n=51)

Q: PCI-DSSの準拠状況についてお答えください。  
(自社サイト構築かつ、非保持化移行不可の企業が回答)



## PCI-DSS準拠対応スケジュール(n=36)

Q: PCI-DSS準拠の対応／検討スケジュールについてお答えください。  
(左記設問で「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)

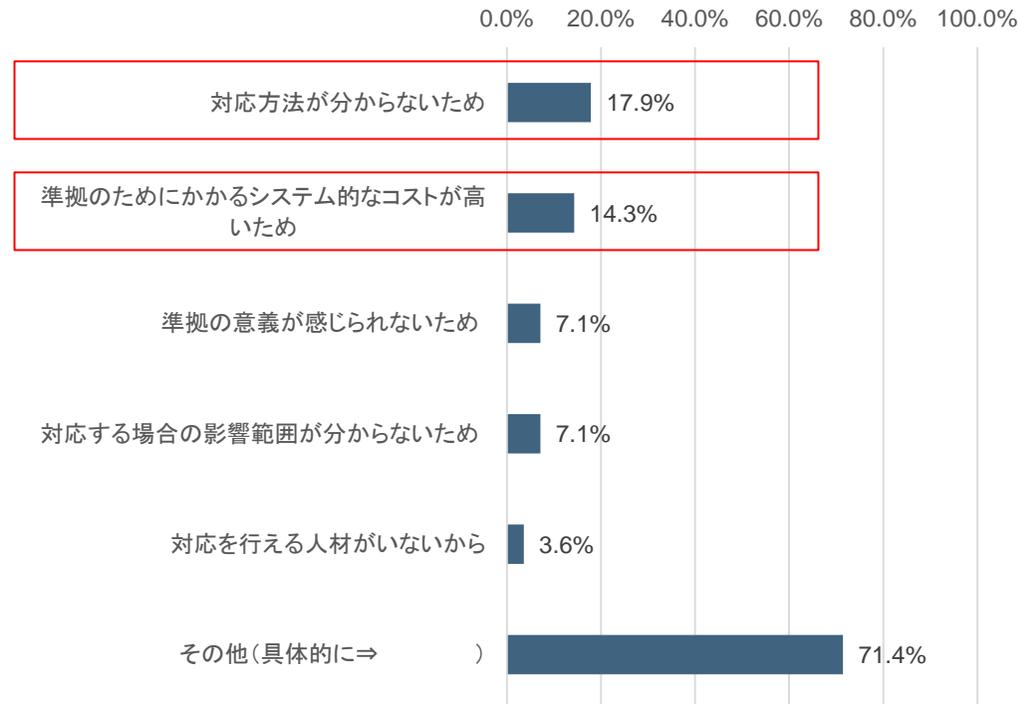


## PCI-DSS未着手の理由や課題(選択式回答)

PCI-DSS未着手の理由としては「対応方法がわからない(17.9%)」「システムの的なコストが高い(14.3%)」が他と比較して高い。

## PCI-DSS未着手の理由や課題(n=28)

Q: PCI-DSS準拠未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。  
(PCI-DSS準拠について「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)



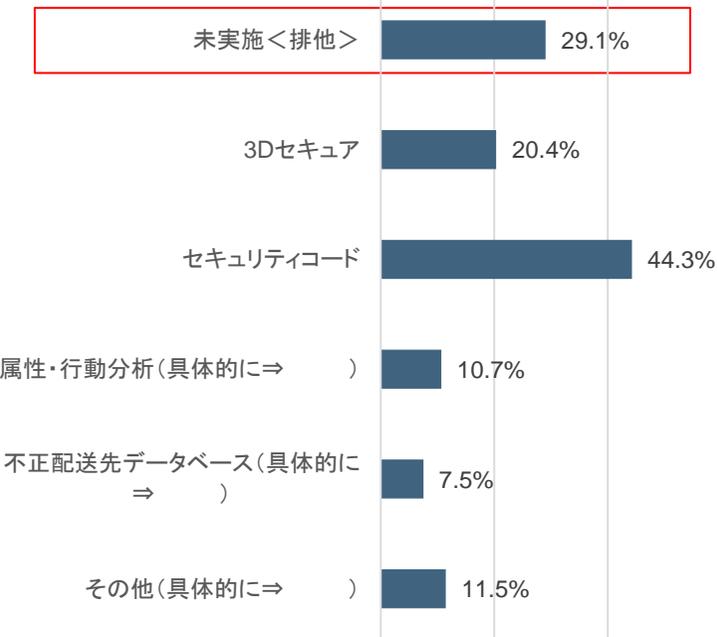
## なりすまし防止対策状況・検討状況

**なりすまし防止対策が未実施の企業は29.1%存在。  
検討のめどが立っていない企業も58.6%存在。**

## なりすまし防止対策状況(n=506)

Q:なりすまし防止対策の対応状況についてご回答お願いいたします。実施しているものすべてについてお答えください。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

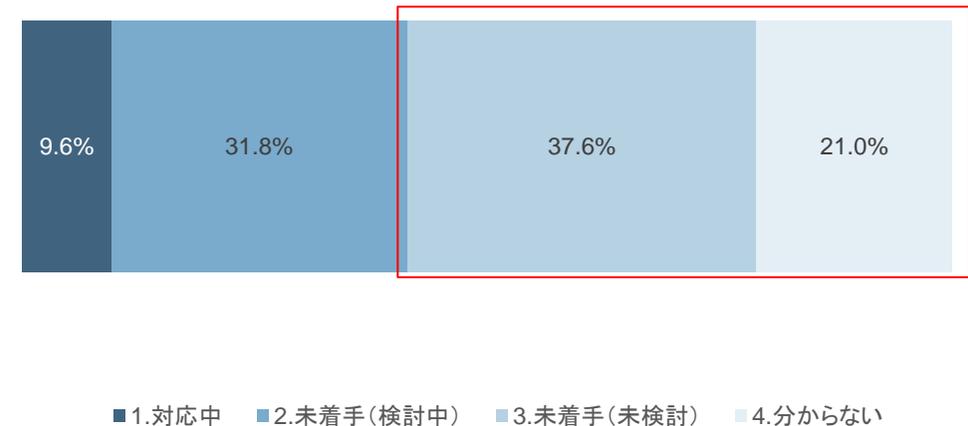


## なりすまし防止対策検討状況(n=157)

Q:なりすまし防止対策提供の検討状況についてお答えください。

未実施と回答した起業の検討状況

0% 20% 40% 60% 80% 100%



なりすまし防止対策状況・検討状況 企業規模別

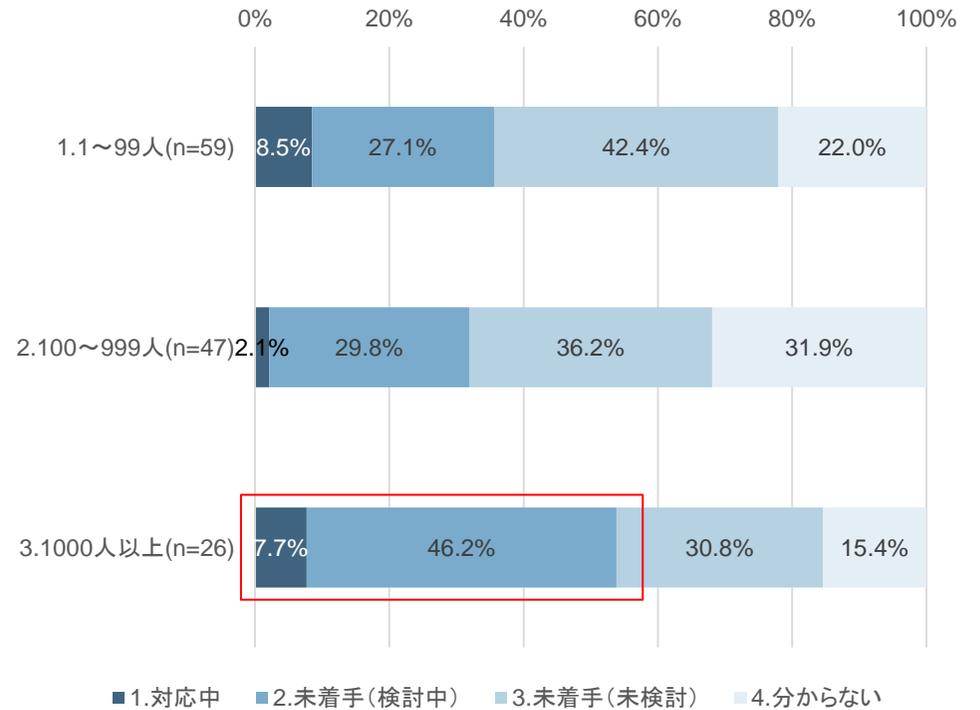
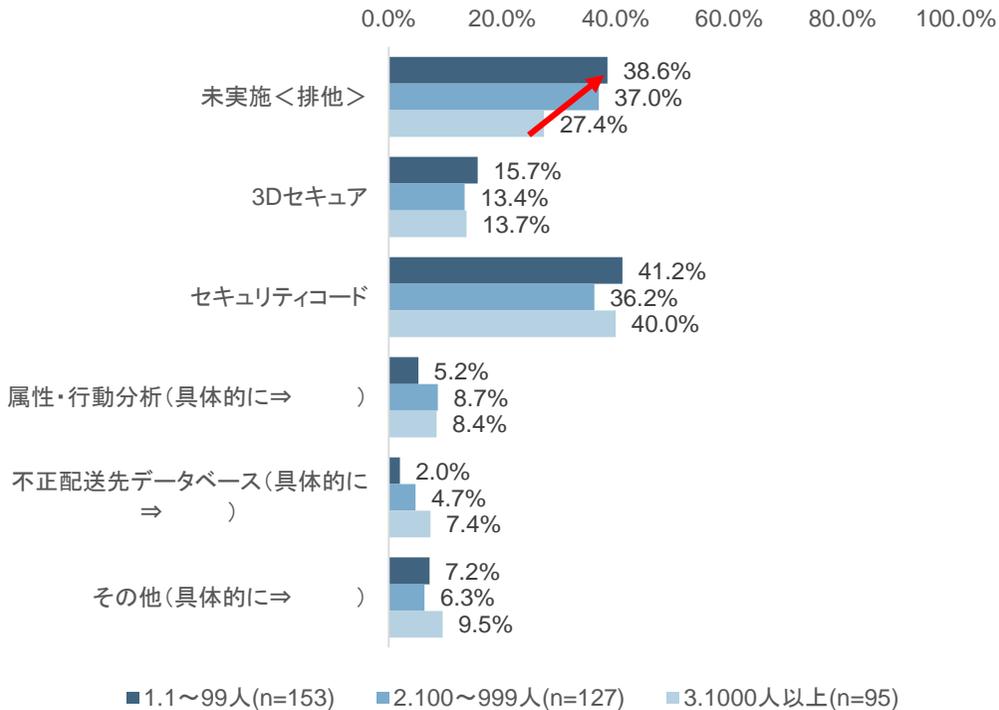
企業規模が小さいほどなりすまし対策が未実施の比率が高くなる。大企業は「対応中」「未着手(検討中)」が合わせて53.9%存在し、比較的対応の検討状況は進んでいる。

なりすまし防止対策状況(n=506)

Q:なりすまし防止対策の対応状況についてご回答願います。実施しているものすべてについてお答えください。

なりすまし防止対策検討状況(n=157)

Q:なりすまし防止対策提供の検討状況についてお答えください。

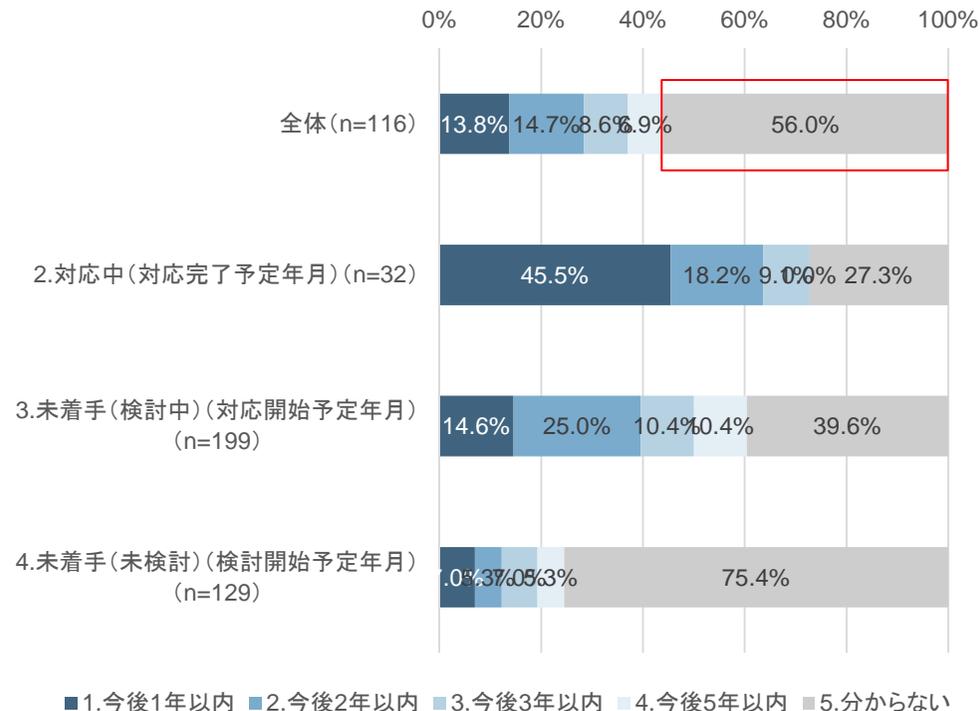


## なりすまし防止対策対応スケジュール

## 対応スケジュールとしては「わからない」が56%を占める。

## なりすまし防止対策対応スケジュール(n=116)

Q:なりすまし防止対策提供の対応／検討スケジュールについてお答えください。  
 (なりすまし防止対策状況について「未実施」と回答した企業のうち、有効回答のみ)  
 (検討状況について「対応中」「未着手(検討中)」「未着手(未検討)」と回答した企業のうち、有効回答のみ)

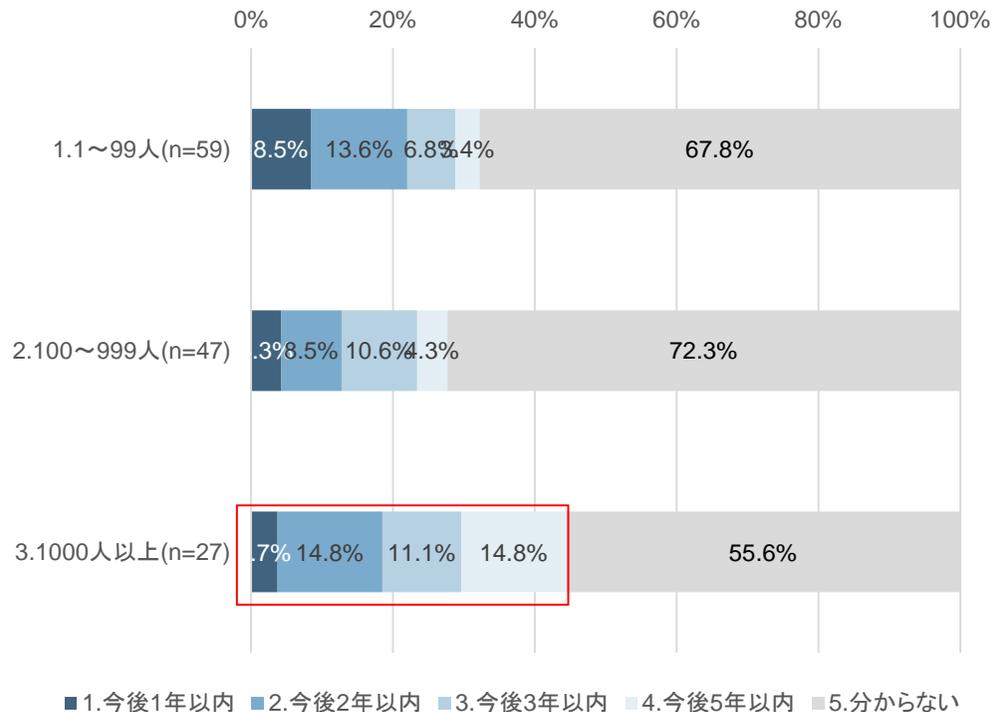


## なりすまし防止対策対応スケジュール 企業規模別

大企業ほど、対応スケジュールについて「分からない」とする回答は依然として多いが、スケジュールの目処を立てている企業は増加傾向にある。

## なりすまし防止対策対応スケジュール(n=150)

Q: なりすまし防止対策提供の対応/検討スケジュールについてお答えください。  
(なりすまし防止対策状況について「未実施」と回答した企業のうち、有効回答のみ)

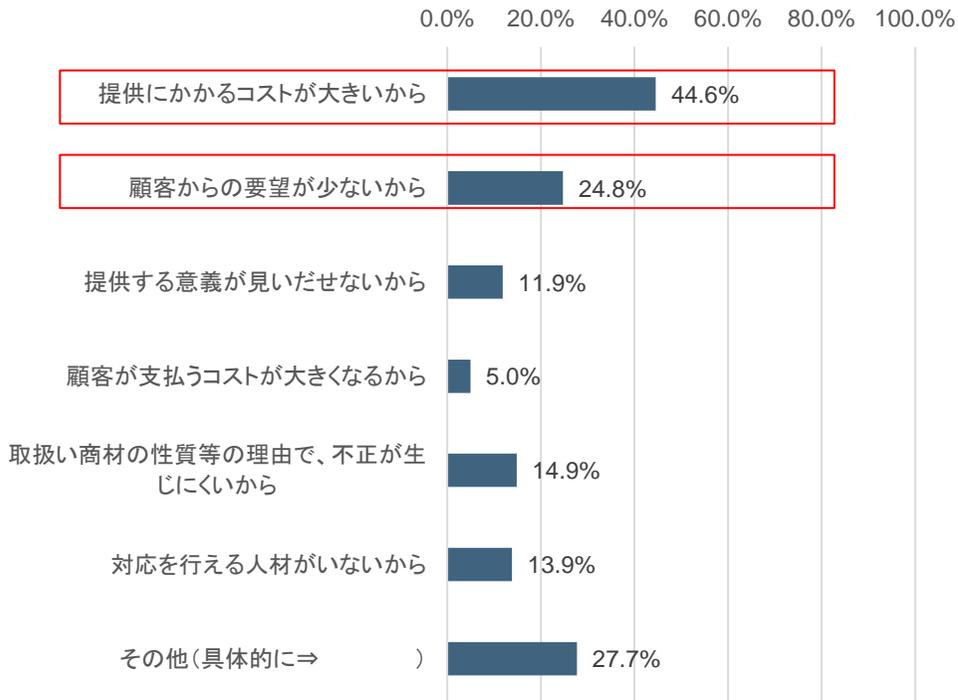


## なりすまし防止対策の未着手の理由や課題・採用理由

**未着手の理由や課題として、「提供コストが高い(44.6%)」「顧客からの要望が少ない(24.8%)」が高い。採用理由としては「不正取引を抑止(88.5%)」が最も高い。**

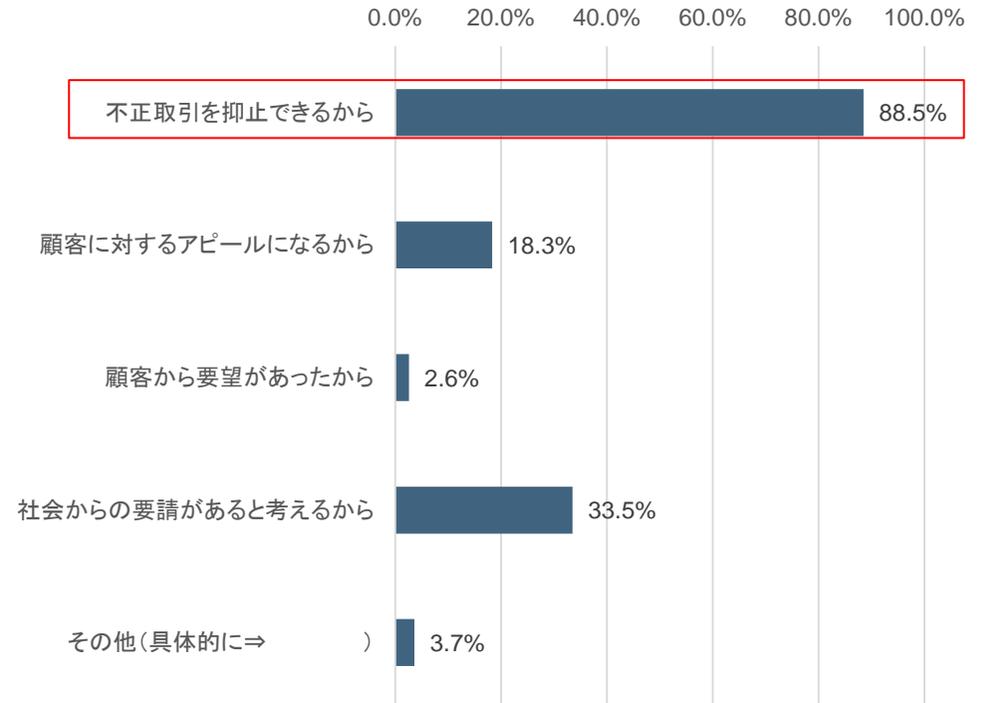
## なりすまし防止対策の未着手の理由や課題(n=102)

Q:なりすまし防止対策未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。



## なりすまし防止対策の採用理由(n=195)

Q:なりすまし防止対策を行っている理由についてお答えください。



なりすまし防止対策の未着手の理由や課題・採用理由 企業規模別

企業規模が大きいほど「提供にかかるコスト」が課題になっている比率が高い。

なりすまし防止対策の未着手の理由や課題

Q:なりすまし防止対策未着手の理由や検討上の課題等について、あてはまるものをお答えください。

なりすまし防止対策の採用理由

Q:なりすまし防止対策を行っている理由についてお答えください。

